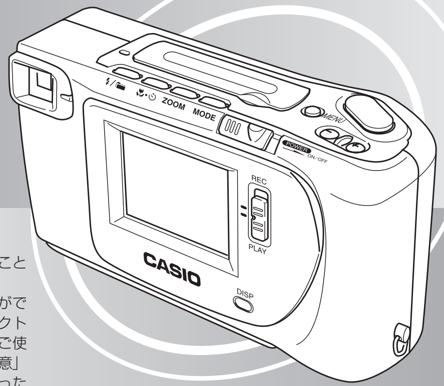
液晶デジタルカメラ

P Z

QV-5500SX

取扱説明書（保証書付き）



ごあいさつ

このたびはカシオ製品をお買上げ頂き、まことにありがとうございます。
本機は、撮影した内容をその場で見ることができる液晶カラーモニターを備えた、コンパクトタイプの液晶デジタルカメラです。本機をご使用になる前に、必ず、別紙の「安全上のご注意」をお読みになり、本書とともにお読みになった後も、大切に保管してください。

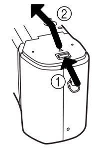
CASIO

早分かりガイド

日時設定をする
☞31ページ参照

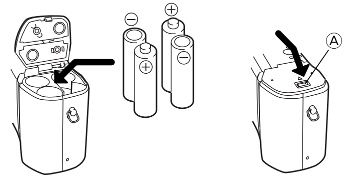
電池を入れる（詳細は28ページ参照）

1



本体底面の【電池ブタ】の【開閉ツマミ】を、矢印の方向にスライドさせ(①)、フタを開きます(②)。

2

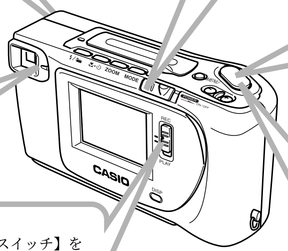


電池を図のようにセットした後【電池ブタ】を閉めます。

- 必ず単3形のアルカリ電池および、リチウム電池、指定の充電池をご使用ください。マンガン電池は使用できません。
- ツマミ部分が「パチン」というまでしっかりと押し下げてください。
- 【電池ブタ】の先端（Ⓐの部分）を押すと簡単に閉めることができます。

早分かりガイド

撮影するには（詳細は33ページ参照）



1 レンズキャップをはずします。

2 【ファンクションスイッチ】を[REC]（撮影）に合わせます。

3 電源（右方向にスライド）を入れます。

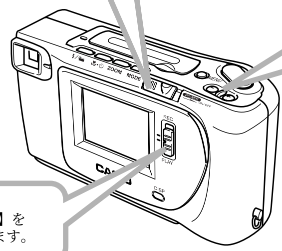
4 被写体にレンズを向けます。液晶画面で確認しながら【シャッター】を半押しします。
- オートフォーカス機能により、自動的にピントが合います。

5 【動作確認用ランプ】が緑色に点灯していることを確認します。

6 【シャッター】を押し切ります。
- 速写撮影（36ページ）の設定が"オン"のときは、【ファンクションスイッチ】の切り替えまたは、【MODE】／【MENU】を押すと、記録を開始します。

早分かりガイド

撮影した内容を見るには（詳細は56ページ参照）



1 【ファンクションスイッチ】を[PLAY]（再生）に合わせます。

2 電源（右方向にスライド）を入れます。
- 画面に撮影内容が表示されます。

3 【＋】または【－】を押すと、記録した 画像の送り／戻しができます。

本機には、デモ用の画像が記録されている場合があります。
不要の場合は、消去してください。

早分かりガイド

いらない画像を消去するには（詳細は70ページ参照）

1
【ファンクションスイッチ】を[PLAY]（再生）の位置に合わせます。

2
【MENU】を押します。

3
【+】または【−】で“消去”を選び【シャッター】を押します。

↓

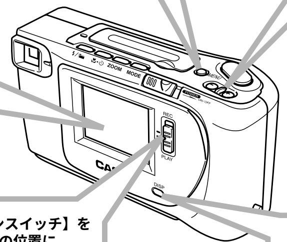
【+】または【−】で“選択画像”（1枚消去）を選び【シャッター】を押します。

↓

【+】または【−】で消去する画像を選び【シャッター】を押します。

4
現在表示されている画面が間違いなく消去したい画像であることを確認してください。

- 消去を中止したい場合は【MENU】を押してください。



5
【DISP】を押します。

↓

【+】または【−】で“はい”を選び【シャッター】を押します。（消去完了）

消去の操作を終了するには【MENU】を押します。

あらかじめご承知いただきたいこと

- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤りなど、お気付きのことがありましたらご連絡ください。
- 本書の一部又は全部を無断で複写することは禁止されています。また、個人としてご利用になるほかは、著作権法上、当社に無断では使用できません。
- 万一、本機使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 故障、修理その他の理由に起因するメモリー内容の消失による、損害および逸失利益等につきまして、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- デジタルカメラを使って撮影したものは、個人として使用するほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本文中の以下の用語は、それぞれ各社の商標です：
Windowsは米マイクロソフト社の商標です。
Macintoshは米アップルコンピューター社の商標です。
COMPACTFLASH、コンパクトフラッシュ、CFロゴは米SanDisk社の商標です。
その他の社名および商品名は、それぞれ各社の登録商標および商標です。

目　次

さまざまな機器との接続　74

ご参考、および保証等について　86

本機の特徴

このカメラでできること

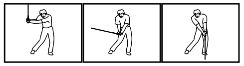
ストレスのない操作感を実現

Quick Shutter機能搭載（最高画質でも0.5秒間隔で撮影）

Quick view機能搭載（最高画質の画像も２コマ／秒でページ送り）

デジタルならではの動画・パノラマ機能

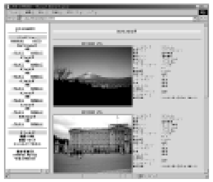
過去に遡って記録されるメモリ機能付きムービープレイ（57ページ）
カメラ内で９枚の画像をパノラマ表示（59ページ）





撮影画像を簡単確認（82ページ）

高容量に対応できるコンパクトフラッシュカード（メモリーカード）を採用
撮影画像をパソコンで一覧表示できるカードブラウザー（HTMLファイル）機能搭載



わかりやすい操作画面で簡単操作

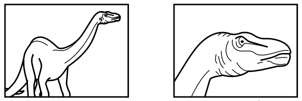
グラフィカルな日本語対応メニュー搭載
高精細HAST液晶画面搭載

カシオ独自の高画質化技術

マルチパターン測光搭載
高画質131万画素CCD搭載

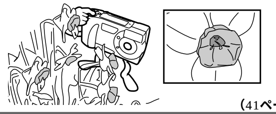
こんな機能もあります

◆ ４倍ズーム撮影機能



（40ページ）

◆ 接写ができるマクロ撮影



（41ページ）

◆ 画像を重ねて撮影できる多重露出



（47ページ）

◆ 記念写真などはセルフタイマーで撮影



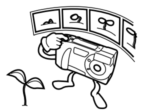
（48ページ）

◆ 夜景を鮮やかに撮影（フラッシュ機能・夜景モード）



（37･45ページ）

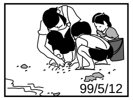
◆ 設定した時間に撮影（タイマー）



（49ページ）

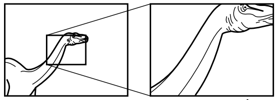
こんな機能もあります

◆ 撮影した日時を画像に入れる（日時設定）



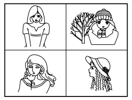
（31ページ）

◆ 画像の一部を拡大して表示



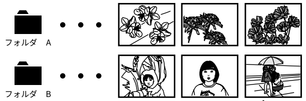
（61ページ）

◆ １画面に複数画像を表示



（62ページ）

◆ 画像を目的別に分類して保存（フォルダ）



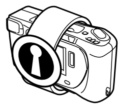
（66ページ）

◆ 撮影画像を次々に表示（スライドショー）



（63ページ）

◆ 誤って消すことを防止（メモリープロテクト）



（68ページ）

使用上のご注意

データエラーのご注意

• 本製品は精密な電子部品で構成されており、以下のお取り扱いをすると内部のデータが破壊される恐れがあります。

ー 記録、通信中に電池をはずしたり、ＡＣアダプターをはずした
ー 撮影中などにメモリーカードを抜いた
ー 電源をOFFにしたときに【動作確認用ランプ】が点灯している状態で電池やACアダプター・メモリーカードを抜いた
ー 通信中のケーブルはずれ
ー 消耗した電池を使用し続けた
ー その他の異常操作

このような場合、次の表示がでてきましたら、画面内容に対応したご処置をお願いいたします。

• メモリーカードが異常です
• フォーマットされていません

➡ 画面に表示されるメッセージとその対処方法。（89ページ）

使用環境について

• 使用できる温度の範囲は、０℃～４０℃です。
• 次のような場所には置かないでください。
ー直射日光のあたる場所、湿気やホコリの多い場所
ー冷暖房装置の近くなど極端に温度、湿度が変化する場所
ー日中の車内、振動の多い場所

結露について

• 真冬に寒い屋外から暖房してある室内に移動するなど、急激に温度差の大きい場所へ移動すると、本機の内部や外部に水滴が付く（結露）ことがあります。結露は故障の原因になりますので、ご注意ください。結露を防ぐには、温度差の大きな場所の間を移動する前に、本機をビニール袋に入れて密封しておき、移動後に本機を周囲の温度に十分慣らしてから取り出してください。なお結露してしまった場合は、本機から電池を取り出して、電池ブタを開けたまま数時間放置してください。

蛍光管について

• 液晶画面のバックライトに使用されている蛍光管には寿命があります。液晶画面が暗くなったりチラつく場合は、最寄りのカシオテクノ・サービスステーション（95ページ）までご連絡ください。有償にてお取り換えします。蛍光管の寿命は、一日２時間のご使用で約６年間です。
• 低温でご使用の場合は、バックライトが点灯するまでに時間がかかったり、赤味を帯びることがありますが、故障ではありません。しばらくすると正常に戻ります。

撮影時の画面について

• 撮影時、液晶画面に表示される被写体の映像は、フレーム確認のための「簡易画像」です。
撮影した内容は、選択した画質モードで記録されており、出力画素数は確保されています（メモリーカードには綺麗な画像で記録されています。）。
• 撮影時の液晶画面の表示速度は、被写体の明るさにより異なる場合があります。

再生時の画面について

• 再生時、本機では【＋】／【－】によるページめくりの速度を高速化し、操作性の向上を図っています。
このためページ送り後、瞬時に表示される画像は、一旦「簡易画像」になります。
記録されている本来の「精細画像」は、ファイルサイズにもよりますが、約５秒後に表示されます。
また、ビデオ出力時のみ「PREVIEW」の文字が右上に表示されます。

レンズについて

• レンズ面が指紋、ゴミなどで汚れていると、カメラ本体の性能が十分に発揮できませんので、レンズ部には触れないでください。
レンズ部の汚れは、ブロアーでゴミやホコリを軽く吹き払ってから、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。

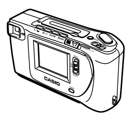
日付について

• 出荷時、日時設定はされていません。
ご使用前に必ず設定してください。（31ページ）

付属品の確認

まず、以下の付属品が全部そろっているかどうかをご確認ください。
これらの付属品が全部そろっていなかった場合は、お買上げの販売店にお問い合わせください。

デジタルカメラ本体

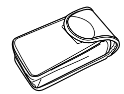


メモリーカード（8MB）

• 出荷時には、デジタルカメラ本体に装着されています。



ソフトケース

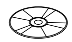


レンズキャップ

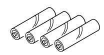
• 出荷時には、デジタルカメラ本体に装着されています。



パソコンリンクソフト（CD-ROM）



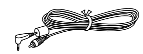
アルカリ電池（単３× 4）



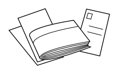
ストラップ



専用ビデオコード

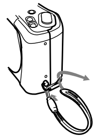


取扱説明書（保証書付き）
アンケートカード



ストラップの取り付けかた

ストラップは、図のようにストラップ穴に通し、しっかりと引っ張ります。



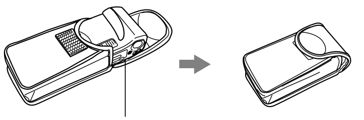
重要!
- カメラ操作時は、落下を防止するため、必ずストラップに手を通した状態で使用してください。
- 付属のストラップは本機専用です。他の用途に使用しないでください。
- ストラップを持って本機を振り回さないでください。

レンズキャップの取り付けかた

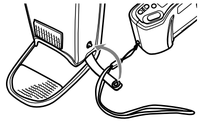
レンズキャップは「CASIO」の文字がまっすぐ横になるように取り付けてください。
斜めに取り付けると、外れやすくなる場合があります。

ソフトケースの使いかた

ご使用にならない時は、本機を付属のソフトケースに入れて保管してください。



液晶面を下にする。

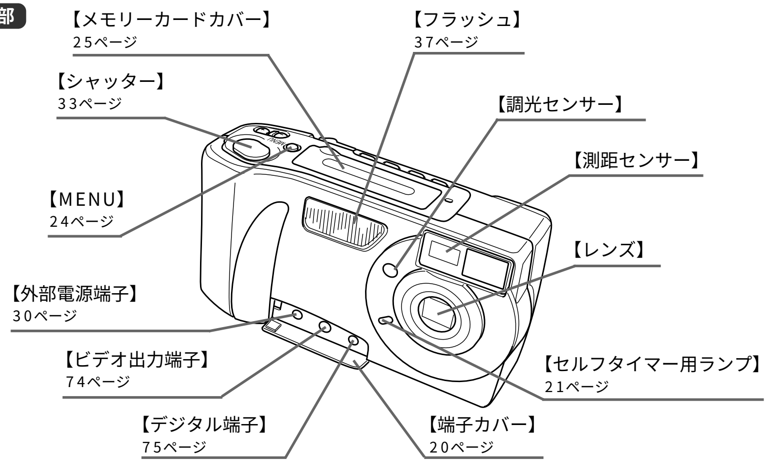


ソフトケースの落下を防止するためには、ソフトケースのホックを外しストラップをからめてから使用してください。

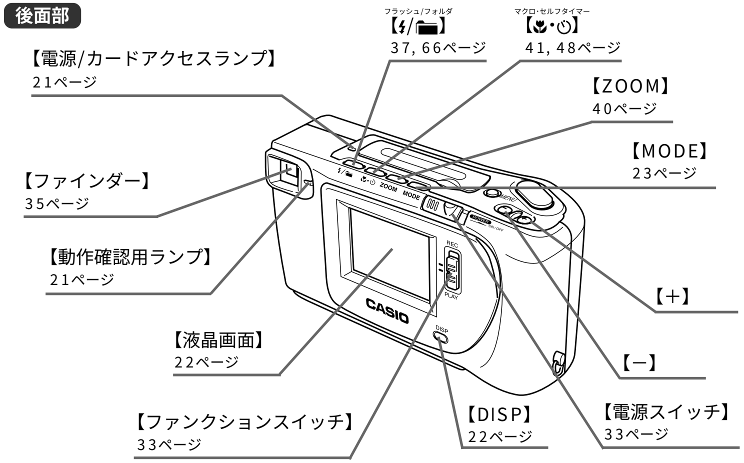
各部の名称

この取扱説明書中では、本機の各部の名称は以下の【　】内の呼びかたを使います。
スイッチやボタンの場所がわからなくなった場合は、こちらをご参照ください。

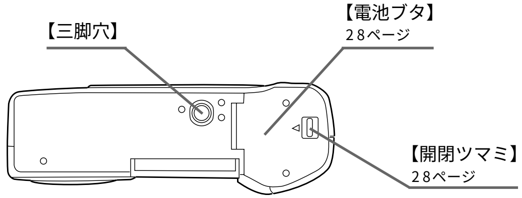
前面部

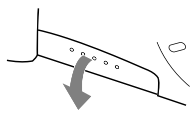
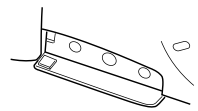


後面部



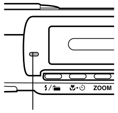
底面部



端子カバーの開きかた	① 	② 

電源/カードアクセスランプについて

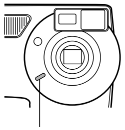
液晶画面の「ON／OFF」に関係なく、電源が入っている場合はランプが点灯、メモリーカードに書き込みを行なっている場合はランプが点滅します。



【電源/カードアクセスランプ】

セルフタイマー用ランプについて

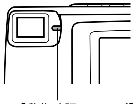
セルフタイマー撮影を行なうときにランプが点滅します。



【セルフタイマー用ランプ】

動作確認用ランプについて

撮影時は、点灯／点滅します。
点灯／点滅する色によって下記の内容を表しています。



【動作確認用ランプ】

■撮影時

発光色	点　灯	点　滅
緑色	ピント合わせ完了	起動中／記録中
オレンジ色	露出警告	フラッシュ充電中
赤色	ピント合わせ不可／“画像がいっぱいです”／フラッシュ充電不可	“メモリーカードが異常です”

• 消灯は撮影可能を意味します。

■再生時（ビデオコード接続時）

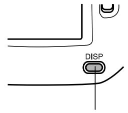
発光色	点　灯	点　滅
緑色	再生中	準備中
赤色	バッテリー警告	

■電池警告時

３秒間赤色点滅後 消灯

画面情報表示

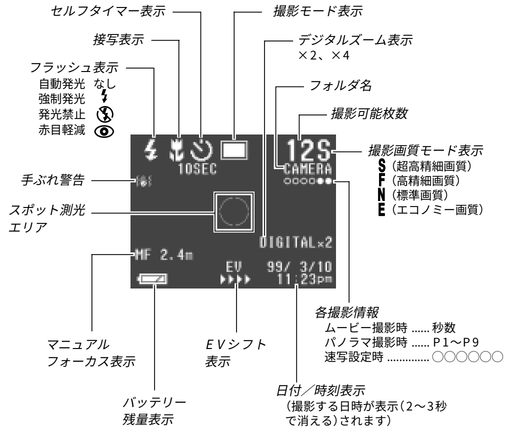
【DISP】を押すと、画面にさまざまな情報を表示することができます。液晶画面を消している場合は【DISP】を１回押して表示させてください。



【DISP】

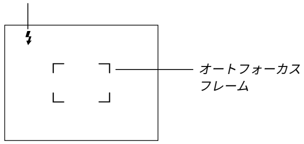
撮影モード時

撮影モードで液晶画面に表示される項目について説明します。



シャッター半押し時

自動発光時にフラッシュ発光する場合はマークが表示されます



• ピント合わせ完了時：緑／白
• ピント合わせ不可時：赤

モード画面

撮影モードで【MODE】を押すと、次の画面が表示されます。【＋】または【−】を使って撮影モードを選び【シャッター】を押すことで、選択することができます。

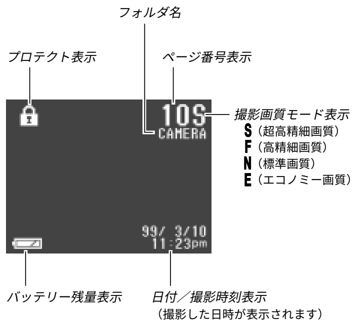


撮影モード表示

	通常撮影	AEB	AEB撮影
	連写撮影	CUSTOM	カスタム設定
	ムービー撮影		タイマー撮影
	パノラマ撮影		夜景撮影
	多重露出撮影		

再生モード時

再生モードで液晶画面に表示される項目について説明します。



メニュー画面

再生モードで【MENU】を押すと、次の画面が表示されます。

1. **【＋】または【−】で使いたい機能がある分類を選び【シャッター】を押します。**
2. **使いたい項目を選び【シャッター】を押します。**



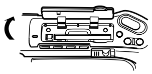
メモリーカードについて

本機は、撮影画像の記録用としてメモリーカード（コンパクトフラッシュカード）を使用しています。
メモリーカードは出荷時には装着された状態になっています。

重要!
- メモリーカードの抜き差しの際は、電源を切ってください。
- 【電源/カードアクセスランプ】が点滅中にメモリーカードを抜かないでください。
- カードには、表裏、前後の方向があります。無理に入れようとすると破損の恐れがあります。

メモリーカードを入れるには

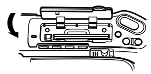
1. **【メモリーカードカバー】を開きます。**



2. **メモリーカード表面の矢印を下にして、しっかり押し込みます。**

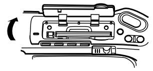


3. **【メモリーカードカバー】を閉めます。**

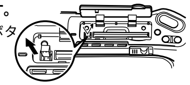


メモリーカードを取り出すには

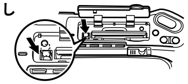
1. **【メモリーカードカバー】を開きます。**



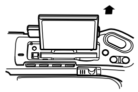
2. **イジェクトボタンを押します。**
   - 1回押すと、イジェクトボタンが飛び出します。



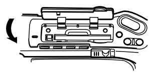
3. **イジェクトボタンを深く押し込みます。**



4. **メモリーカードを取り出します。**



5. **【メモリーカードカバー】を閉めます。**



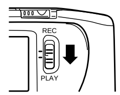
重要!
- 故障の原因となりますので、メモリーカード挿入部にはメモリーカード以外のものを入れないでください。
- 万一異物や水がメモリーカード挿入部内に入り込んだ場合は、本体の電源を切り電池・ACアダプターを抜いて、販売店またはカシオテクノ・サービスステーションにご連絡ください。
- メモリーカードの挿入部を下にしたまま、カードを取り出さないでください。
  メモリーカードが落下して、故障やデータが破壊する場合があります。

メモリーカードのフォーマット（初期化）

メモリーカードをフォーマットすると、メモリーカードの内容をすべて消去します。
- 画像データにメモリープロテクト（68ページ）をかけていても、メモリーカードのフォーマットを行なうと、すべてのデータが消去されます。

重要! 一度メモリーカードをフォーマットすると、二度とデータを元に戻すことはできません。
フォーマットを行なう際は、本当にフォーマットしてもいいメモリーカードかどうかをよく確かめてから行なってください。

1. **【ファンクションスイッチ】を［PLAY］（再生）の位置に合わせます。**



2. **【MENU】を押します。**
3. **【+】または【−】で"設定"を選び【シャッター】を押します。**
4. **【+】または【−】で"フォーマット"を選び【シャッター】を押します。**
5. **【+】または【−】で"はい"を選び【シャッター】を押します。**

メモリーカードの注意事項

- 本機はメモリーカードが装着されていないと画像が記録されません。必ずメモリーカードを装着してください。
- メモリーカードは必ずカシオ製コンパクトフラッシュカード（CF-4x／CF-8x／CF-15x／CF-30x／CF-48x）を使用してください。
  他社のメモリーカードをお使いの場合の動作保証はできません。
- 静電気、電気的ノイズ等により記録したデータが消滅（破壊）することがありますので、大切なデータは別のメディア（MOディスク、フロッピーディスク、ハードディスクなど）にバックアップして控えを取ることをおすすめします。
- 万が一メモリーカードの異常が発生した場合は、メモリーカードのフォーマットの操作（89ページ）で復帰できますが、外出先などでこの操作を行なえない場合に備えて複数枚のメモリーカードをお持ちになることをおすすめします。
- 異常と思われる画像を撮影したり、新たにオプションのメモリーカードをご購入された場合は，一度フォーマット（初期化）してお使いいただくことをお勧めいたします。
- フォーマットの操作を行なうときは、ACアダプターを使用するか、新品のアルカリ電池またはリチウム電池を使用してください。
  フォーマット中に電源が切れると正しくフォーマットが行なわれず、メモリーカードが正常に使用できない場合があります。

メモリーカード内のフォルダに関する注意事項

- 本機はメモリーカード内に、フォルダ（ディレクトリ）がない場合、自動的にフォルダを作成します。（66ページ）
- 1つのフォルダに保存できる画像は最大で250枚までです（カードの種類や画質によって異なります）。パソコン等で251枚以上画像を保存しても、本機では表示されません。
- ページ残量表示は、メモリーカード全体の容量と各フォルダ内の撮影可能枚数を比較して、低い値を優先表示します。
- デジタルカメラ内で作成される画像ファイル名は、
  日付（前5文字）＋ 3桁の連番 ＋ 拡張子（JPG／AVI）
  として名付けられます。

＜例＞

□□□□□ 001. JPG
→ 日：01 〜 31
→ 月：1 〜 9， A， B， C
　　　　　10月 11月 12月
→ 年：98， 99， 00， 01 〜 49
　　　　　　2000年

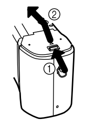
電源について

本機は、乾電池（単3形アルカリ電池および、リチウム電池）、指定の充電池または家庭用電源を利用できます。

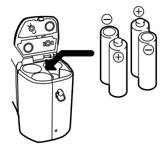
電池を入れるには

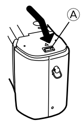
電池交換の際は、電源を切ってください。

1. **本体底面の【電池ブタ】の【開閉ツマミ】を、矢印の方向にスライドさせ（①）、フタを開きます（②）。**



2. **電池を図のようにセットした後【電池ブタ】を閉めます。**





- 必ず単3形の指定電池をご使用ください。マンガン電池は使用できません。
- ツマミ部分が「パチン」というまでしっかりと押し下げてください。
- 【電池ブタ】の先端（Ⓐの部分）を押すと簡単に閉めることができます。

電池持続時間の目安

本機では乾電池（単3形アルカリ電池及びリチウム電池）、指定の充電池が利用できます。
以下の電池持続時間は、標準温度（25℃）で使用した場合の電源が切れるまでの目安であり、保証時間ではありません。低温下で使うと、電池持続時間が短くなります。

使 用 電 池	連続再生時	連続撮影時
単3形アルカリ電池　LR6	約 120分	約 360枚撮影可能*1
単3形リチウム電池　FR6	約 210分	約 840枚撮影可能*1

アルカリ電池は松下電池工業（株）製、リチウム電池は富士写真フィルム（株）製の場合の数値です。電池持続時間はメーカーによって異なります。

■充電式電池のご利用について

充電式電池は、別売品のニッケル水素蓄電池（NP-H3）をお使いください。他の充電式電池については動作保証いたしかねます。

- ニッケル水素蓄電池／急速充電器セット　　BC-1HB4
- ニッケル水素蓄電池（4本セット）　　NP-H3P4

重要!
- 電池は、必ず同じ製品を4本セットでご使用ください。
  違う種類の電池や、充電状態の異なる電池を組み合わせてご使用になると、電池寿命を短くしたりカメラの故障の原因となります。
- 本機では充電できません。

使 用 電 池	連続再生時	連続撮影時
ニッケル水素蓄電池 NP-H3	約 130分	約 500枚撮影可能*1

参考 ＊1 連続撮影枚数は、フラッシュを使用せずに撮影した場合の撮影可能枚数です。
フラッシュの使用、電源のON／OFFなどの条件により数値は異なります。
各電池の特性の違いからバッテリー残量表示の変化のスピードも各々で異なります。

■電池を長持ちさせるために

- 光学ファインダーから被写体を見て撮影するときは【DISP】を何回か押して液晶表示を消してご使用いただくと電池持続時間が長くなります。
- フラッシュを使用しないで撮影するときは、フラッシュ【⚡/▬】を押して発光禁止“ ⓧ ”に設定してご使用いただくと電池持続時間が長くなります。

電池使用時の注意事項

禁止

- ●電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。
  - 極性（⊕と⊖の向き）に注意して正しく入れてください。
  - 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
  - 種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。
  - 本機で指定されている電池以外は使用しないでください。
- ●電池は、充電や分解、ショートする恐れのあることはしないでください。また、加熱したり火の中へ投入したりしないでください。
- ●使えなくなった電池は漏液して故障の原因となりますので、すぐに取り出してください。

- ２週間以上使用しないときは、取り出しておいてください。
- 電池が消耗してくると熱を持ちますが故障ではありません。

バッテリー残量／警告表示

本機の電池が消耗すると本機の画面左下のバッテリー残量表示が“ ▬ ”→“ ▭ ”と変化します（画面情報表示時（22ページ））。“ ▭ ”の状態で使用し続けると、自動的に電源が切れます。
速やかに４本とも新しい電池と交換してください。

オートパワーオフ機能（電池使用時のみ）

本機の電源を入れたままで、一切の操作を行なわずに放置すると、節電のために自動的に電源が切れます。電源が切れるまでの時間は、再生モード※は５分、撮影モード※では２分／５分／10分の設定ができます。設定は「カスタム設定」（53ページ）で行ないます。再び使用するときは、電源を入れ直してください。

※【ファンクションスイッチ】を［REC］（撮影）の位置にセットした状態を「撮影モード」、［PLAY］（再生）の位置にセットした状態を「再生モード」と呼びます。

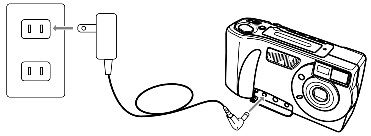
重要! • 以下の状態では、オートパワーオフ機能は働きません。

－スライドショー中（63ページ）
－本機のデジタル端子を通じて本機を外部のパソコンやプリンターなどと接続しており、外部機器で本機を操作しているとき（74～75ページ）
－ACアダプターを接続しているとき

家庭用電源を使うには

家庭用電源から電源を取るには、別売品の専用ACアダプター（AD-C620）をご利用ください。

- AD-C620は米国などAC100～120Vの電源地域への旅行の際はそのままご使用になれます。



ACアダプター使用時の注意事項

禁止

- 表示された電源電圧（AC100～120V）以外の電圧で使用しないでください。火災・故障・感電の原因となります（ACアダプターは別売本機専用をご使用ください）。
- ACアダプターの電源コードを傷つけたり、破損したりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したりしないでください。電源コードが破損し、火災・故障・感電の原因となります。
- ACアダプターの電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。火災・故障・感電の原因となります。
- 濡れた手でACアダプターを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- タコ足配線をしないでください。火災・故障・感電の原因となります。
- 万一、ACアダプターの電源コードが傷んだら（芯線の露出・断線など）、販売店またはカシオテクノ・サービスステーションに修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災・故障・感電の原因となります。

- ACアダプターを抜き差しする際には、必ず本機の電源を切ってください。
- 本機に電池をセットした状態でACアダプターを使う場合でも、電源を入れたままACアダプターの抜き差しをするのはおやめください。電源を入れたままACアダプターの抜き差しを行なうと、製品保護のために本機の電源は一度切れますが、保護しきれずに故障の原因となることがあります。
- ACアダプターは、長時間ご使用になりますと若干熱を持ちますが、故障ではありません。
- ご使用にならないときは、ACアダプターをコンセントから必ずはずしてください。
- ACアダプターのプラグを差し込むと、電池よりもACアダプターが優先されます。
- パソコンと接続する際は、ACアダプターをお使いください。

日時設定について

日付および、時刻を設定します。
この日時は、ファイル名やファイル情報、画像上に貼り付けられる「タイムスタンプ」などに利用されます。

重要! • 電池や、ACアダプターで電源が供給されていないと、約12時間で日時がリセットされます。
• 日時設定を行なわないと、「ファイル名」「タイムスタンプ」の機能が働きません。必ず設定してください。

日付および時刻を設定する

1. **【ファンクションスイッチ】を［PLAY］（再生）の位置に合わせます。**
2. **【MENU】を押します。**
3. **【＋】または【－】で“ 設定 ”を選び【シャッター】を押します。**
4. **【＋】または【－】で“ 日付 ”を選び【シャッター】を押します。**
5. **【＋】または【－】で“ 時刻設定 ”を選び【シャッター】を押します。**



6. **時刻と日付を指定します。**
   - 【＋】または【－】を押し続けて網かけ部分の数字などを変えて【シャッター】を押します。
   他の部分が網かけ状態になるので、同様に設定します。
7. **設定が終了したら【MENU】を押します。**

日付の表示スタイルを変更する

画面上での日時の表示方法を下記の３通りの中から選ぶことができます。

例）1999年5月12日
99／5／12、12／5／99、5／12／99と表示します。

1. **【ファンクションスイッチ】を［PLAY］（再生）の位置に合わせます。**
2. **【MENU】を押します。**
3. **【＋】または【－】で“ 設定 ”を選び【シャッター】を押します。**
4. **【＋】または【－】で“ 日付 ”を選び【シャッター】を押します。**
5. **【＋】または【－】で“ 表示スタイル ”を選び【シャッター】を押します。**



6. **【＋】または【－】で日付のスタイルを選び【シャッター】を押します。**

表示メッセージの切り換え

画面のメッセージを日本語／英語表示の切り替えができます。

1. **【ファンクションスイッチ】を［PLAY］（再生）の位置に合わせます。**
2. **【MENU】を押します。**
3. **【＋】または【－】で“ 設定 ”を選び【シャッター】を押します。**
4. **【＋】または【－】で“ Language/言語 ”を選び【シャッター】を押します。**



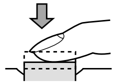
5. **【＋】または【－】で表示する言語を選び【シャッター】を押します。**

撮影する

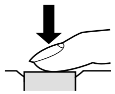
シャッターの押しかた

本機は、オートフォーカス機能により自動的にピントを合わせることができます。

1.【シャッター】を軽く押します(半押し)。



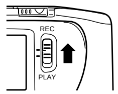
2.【シャッター】を押します(押し切る)。



基本的な撮影

最も基本的な撮影のしかたです。以下の手順で操作してください。

1.【ファンクションスイッチ】を[REC](撮影)の位置に合わせます。



2.【電源スイッチ】を矢印の方向にスライドさせます。



- 【電源スイッチ】は、指を離すと元の位置に戻ります。
- 電源を切るには【電源スイッチ】をもう一度スライドさせてください。

3. **撮影する被写体にフレームを合わせて【シャッター】を半押しします。**



- オートフォーカス機能により、ピントが合うと【動作確認用ランプ】が緑色に点灯します。
- ファインダーから被写体を見るときは【DISP】を２回押して、液晶画面を消してください。
- レンズを指でふさがないようにご注意ください。
- 接写撮影したい場合は41ページの「マクロ撮影」を参照してください。

4. **ピントが合っていることを確認して【シャッター】を押し切ります。**

- 画質によって保存できる枚数が異なります(38ページの「画質の切り替え」を参照してください)。
- 撮影された画像は「CAMERA」フォルダに記録されます。(画像を記録するフォルダを変更する場合は、66ページを参照してください。)

重要!
- オートフォーカスできない状態
  - ー階調のない壁などコントラストが少ない
  - ー強い逆光下
  - ー光沢のある金属など明るく反射している
  - ーブラインドなど、水平方向に繰り返しパターンがある
  - ーカメラからの距離が異なるいくつもの被写体がある
  - ー暗い場所
  - ー４倍ズームでの近距離撮影

上記のような被写体に対しては、ピントが合わず【動作確認用ランプ】が赤色に点灯することがあります。
このような場合には、フォーカスをマニュアルに切り替えて撮影してください（42ページ）。
ピントが合わないときは、自動的に固定位置に焦点を合わせて撮影します。

明るい場所での撮影時 1.5m以上
フラッシュを使用しての撮影時 .... １～２m

撮影時の注意事項

- 【動作確認用ランプ】が緑色点滅している間に【電池ブタ】を開けることは、絶対におやめください。今撮影した内容が記録されないばかりでなく、撮影済みの内容が破壊されるおそれがあります。
- メモリーカードに記録中は、電池・ACアダプターおよび、メモリーカードを抜かないでください。
- 蛍光燈照明の室内で撮影する場合、本機は蛍光燈のフリッカー（人の目では感じられない、ごく微妙なちらつき）を感知してしまい、撮影するタイミングによって、微妙に撮影画像の明るさや色合いが変わる場合があります。

撮影キャンセルのしかた

撮影した画像を、撮影した瞬間に失敗したことがわかれば、記録時間を待つことなく次の撮影に移ることができます。

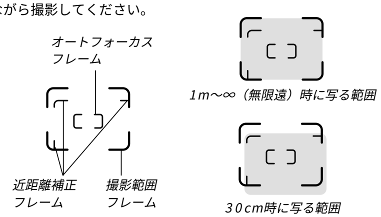
1. **撮影後、「(DISP)でこの画像の記録中止」と表示されているときに【DISP】を押すと、画像の記録がキャンセルされます。**

- 記録がキャンセルされた場合は、「記録を中止しました」が表示されます。

重要!
- 液晶オフ時、ムービー撮影、タイマー撮影時はこの機能は動作しません。
- なにも操作しない場合は、メモリーカードに保存されます。

ファインダーを使用した撮影

ファインダーを覗きながら撮影する場合は、以下の内容に注意しながら撮影してください。



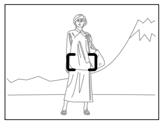
撮影範囲フレームは1m～∞（無限遠）時に写る範囲ですが、被写体までの距離が近づくにつれて撮影できる範囲が右下に移動します。30cmのときは近距離補正フレーム内が確実に撮影できる範囲となります。

ファインダーでの撮影は、30cm～∞（無限遠）の範囲で行なってください。オートフォーカスでの撮影の場合は、オートフォーカスフレーム内の被写体にピントが合います。
30cmより近い範囲で撮影するときには【✿・⏲】を押してマクロ撮影モードにするか、マニュアル撮影モードにしてから撮影してください。
- マクロ撮影モードにすると、自動的に液晶画面がつきます。

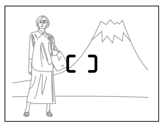
フォーカスロック撮影

ファインダーを覗いて撮影するとき、撮影したい構図でオートフォーカスフレームに入らない被写体にピントを合わせる場合は、フォーカスロック撮影を行ないます。

1. **ピントを合わせたい被写体に、オートフォーカスフレームを合わせ【シャッター】を半押しします。**



2. **【シャッター】を半押ししたまま、撮影する構図にレンズを移動させます。**



3. **【シャッター】を押します。**

速写撮影

速写機能（Quick Shutter）を設定しますと、約0.5秒間隔で次の撮影をすることができます。被写体を次々に撮影するときに、たいへん便利です。
- 通常撮影（６枚まで）、夜景撮影（５枚まで）モードでのみ使用できます。

1. **【ファンクションスイッチ】を[REC](撮影)の位置に合わせます。**

2. **撮影メニュー(50ページ)中の「撮影機能1→速写設定」を「オン」に切り替えます。**

- 設定されますと、フォルダ名の下に「○○○○○○」が表示されます。

3. **【シャッター】を押して1枚撮影すると、○が●に変わります。**

- この状態では、メモリーカードには画像を保存していません。【ファンクションスイッチ】を［PLAY］へ、または【MENU】/【MODE】を押したとき、メモリーカードがいっぱいになった状態、バッファがいっぱい（6枚まで）になった状態で、メモリーカードに画像を保存します。

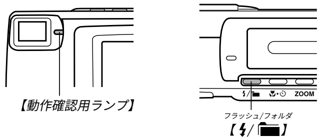
重要!
- メモリーカードに書き込み中は、【電源/カードアクセスランプ】が点滅しています。このときに、メモリーカードは絶対に抜かないでください。画像が消滅します。
- 電池が残り少ないときは、速写設定をオフにしてください。
- メモリーカードに保存せずに、電源が切れると画像は記録されません。
- 速写撮影時のメモリーカードへのデータ記録時間は最大で約30秒かかります。

フラッシュ撮影

フラッシュを使った撮影ができます。

1. 【⚡/📁】を押します。

- 【⚡/📁】を押すごとに、自動発光 → 強制発光"⚡"→発光禁止"⊘"→ 赤目軽減"◉"の順番で撮影状態が切り替わります。
- フラッシュの充電中は液晶画面が消え【動作確認用ランプ】が点滅します。



画面表示	発光状態
表示なし	「自動発光」露出に合わせて自動的に発光する
⚡	「強制発光」露出に関係なく強制的に発光する
⊘	「発光禁止」露出に関係なく発光しない
◉	「赤目軽減」プリ発光してから再度発光する （人物を撮るときに目が赤くなることを軽減します。）

■手ぶれ警告について

フラッシュを発光禁止にしているときに、シャッタースピードが遅くなると、"✋"（手ぶれ警告）が液晶画面上に表示されます。

重要!
- "✋"（手ぶれ警告）が出たら、フラッシュまたは三脚を使用してください。
- 夜景撮影モード（45ページ）では"✋"（手ぶれ警告）は表示されません。

■フラッシュ発光表示について

【シャッター】を半押ししたときに、これからフラッシュが発光する場合は、液晶画面上にフラッシュのアイコンが表示されます。

重要!
- フラッシュの発光部や調光センサー部分が指で隠れないようにしてください。隠れてしまうと本来の効果が得られません。
- フラッシュによる撮影距離は約0.7m～約２mの範囲です。この範囲外の被写体に対しては適切な効果が得られません。
- フラッシュの充電は、その時の使用条件（電池の種類、状態や温度等）により数秒～10秒程度かかります。
- ムービー撮影／連写撮影／AEB撮影モードになっているときは、フラッシュは発光しません。このとき"⊘"マークが点滅します。

- 電池が消耗するとフラッシュの充電ができなくなることがあります。このとき"⊘"マークが赤く点滅し、フラッシュが正常に発光せず適性な露出が得られないことを示します。速やかに新しい電池と交換してください。
- 被写体がカメラの方に視線を向けていない場合や被写体までの距離が遠い場合には、赤目軽減効果が現れにくい場合があります。
- 赤目軽減モードでは、露出に合わせて自動的に発光するため明るい場所でのフラッシュ発光はしません。
- フラッシュを使用した場合は、ホワイトバランスが固定されるため、外光や蛍光灯など他の光源があると色味が変わることがあります。

画質の切り替え

本機は、撮影する内容に応じて、画質の切り替えができます。画質モードの切り替えはメニュー設定画面で変更します。
詳しい操作方法は、50ページ「撮影メニュー」を参照してください。

それぞれの撮影可能枚数は以下の通りです。

画質表示	S	F	N	E
撮影画質	超高精細	高精細	標準	エコノミー
別売品の48MB メモリーカード使用時	88枚	123枚	207枚	342枚
付属の8MB メモリーカード使用時	14枚	19枚	33枚	55枚
ファイルサイズ	約500KB/枚	約352KB/枚	約200KB/枚	約112KB/枚
出力画素数 (pixels)	1280 x 960	1280 x 960	1280 x 960	640 x 480

参考
- 被写体によって撮影した画像のファイルサイズが異なるため記録枚数は変化します。
- 容量の異なるメモリーカードをご使用になる場合は、おおむねその容量に比例した枚数が撮影できます。
- １つのフォルダーに保存される画像数に制限があるため（最大250枚）、上記の撮影可能枚数と画面上の表示枚数が一致しない場合があります。
- カードブラウザ(HTMLファイル)機能を"タイプ1～3"にしている場合、上記撮影可能枚数と異なることがあります(82ページ)。

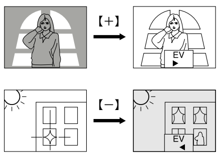
露出補正

本機は、撮影時の明るさに応じて、シャッタースピードと絞りを自動的に変化させる「プログラムAE」を行なっています。このプログラムAE機能とは別に、露出値（EV値）を一定範囲で手動で補正することができます。逆光での撮影、間接照明の室内、背景が暗い場合の撮影時などに利用すると、より良好な画像が得られます。

- 【DISP】を押して、液晶画面を表示させてください(22ページ)。

1. 【+】または【−】を押すと露出補正(EVシフト)され、画面に"▶"が表示されます。

キー	内　容
【+】	室内などの暗い場所、逆光での撮影をするときに押す
【−】	晴天の屋外などでの撮影をするときに押す



- 補正値の限界になると"▶"が赤の表示になります。

2. 適切な明るさになったら【シャッター】を押してください。

参考
- 露出補正値は【+】または【−】を押すごとに、0.5EV刻みで、−2EV～+2EVの範囲で変化させることができます。
- 露出補正値は【シャッター】を押すごとにリセットされて0に戻ります。【シャッター】を押さずにリセットしたい場合は、反対方向に露出補正し、"▶"を消します（パノラマ撮影時、マニュアルフォーカス撮影時は、EVシフトは固定されます）。

重要! 露出補正値は、明るすぎたり暗すぎたりする環境では、−2EV～+2EVの範囲内でも変化できない場合があります。

その他の撮影方法

本機では、通常撮影以外にもいろいろな撮影方法があります。
- ズーム撮影、マクロ撮影、ムービー撮影、パノラマ撮影、マニュアルフォーカス撮影、多重露出撮影、タイマー撮影する場合には、液晶画面をご利用ください。

連写撮影

シャッターを押し続けることで、0.5秒間隔で最大6枚の撮影ができます。

重要!
- 連写撮影では、フラッシュの発光はしません。
- バッテリー残量表示が"▭"の状態で撮影しないでください。
- メモリーカードへのデータ記録時間は、約30秒(6枚時)かかります。
- メモリーカードに記録中は、電池・ACアダプターおよび、メモリーカードを抜かないでください。

1. 【ファンクションスイッチ】を[REC](撮影)の位置に合わせます。

2. 【MODE】を押します。

3. 【+】または【−】で[連写撮影]マーク(▭)を選び【シャッター】を押します。



4. 撮影する被写体にフレームを合わせて【シャッター】を押します。

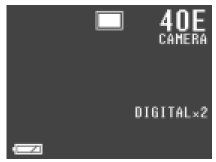
ズーム撮影

ズームは被写体を２倍または４倍に拡大して、エコノミー画質"E"[VGAサイズ(640×480pixels)]で記録します。

1. 【ファンクションスイッチ】を[REC](撮影)の位置に合わせます。

2. 【ZOOM】を押すと、画面右下に倍率(×２)が表示されます。

- さらに【ZOOM】を押すと倍率(×４)が変わります。



3. 通常撮影と同様に【シャッター】を押して撮影します。

参考 ズームの倍率によって、オートフォーカスによる撮影可能範囲が以下のように変わります。

ズーム倍率	撮影可能範囲
OFF	0.3m ～∞
X2	0.5m ～∞
X4	0.8m ～∞

- 上記の距離よりも、被写体が近い場合には、オートフォーカスフレーム内の被写体にピントが合わない可能性があります。
  このときは【シャッター】半押し時に、オートフォーカスフレームが白色になります。

マクロ撮影

近くのものを撮影するときに、レンズの撮影距離を変更することができます。
撮影可能距離 10cm固定
（オートフォーカス機能は働きません。）
撮影可能距離はレンズ前面のプロテクタから被写体までの距離です。

重要! マクロ撮影中は【ファインダー】を使わずに液晶画面を見ながら撮影してください。

1. **【ファンクションスイッチ】を［REC］（撮影）の位置に合わせます。**
2. **【 ・ 】を何回か押して「マクロ撮影」マーク（ ）を表示させます。**
   - 【 ・ 】を押すごとに、セルフタイマー → マクロ → マクロ＋セルフタイマー → 標準の順番で撮影状態が切り替わります。



3. **撮影する被写体にフレームを合わせて【シャッター】を押します。**

マニュアルフォーカス撮影

フォーカス機能をマニュアルにして、レンズのピントを合わせることができます。

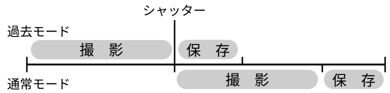
1. **【ファンクションスイッチ】を［REC］（撮影）の位置に合わせます。**
2. **撮影メニュー（50ページ）中の「撮影機能１ → フォーカス方式」を「マニュアル」に切り替えます。**



3. **被写体までの距離を確認して、最も近い数字になるように【＋】または【－】で選択します。**
4. **【シャッター】を押します。**
   - マニュアルフォーカス時は【シャッター】を半押ししても【動作確認用ランプ】／オートフォーカスフレームは表示されません。

ムービー撮影

約3.2／6.4／9.6秒の動画を撮影することができます。
また、「ファイル形式（JPEG／AVI）」「サイズ（320×240／160×120 pixels）」の選択ができます。
ムービー撮影の種類には【シャッター】を押した前（過去モード）と後（通常モード）の２通りの撮影方法があります。
撮影方法、撮影時間の切り替えはメニュー設定画面で変更します。設定方法については、50ページの「撮影メニュー」を参照してください。



参考
- 過去モードで撮影すると、シャッターチャンスを逃すことなく撮影することができます。
- AVI形式は、Open DMLグループが提唱したMotion JPEGフォーマットに準拠しています。
- パソコンリンクソフト（LS-10W／LS-11M）では、AVI形式のムービーは利用（保存、再生）できません。
- パソコンでAVIファイルを見るときは、別売のコンパクトフラッシュカードリーダー（CF-1RW）等を接続（79ページ）して、付属のパソコンリンクソフトに含まれているQuick Time 3をインストールしてください。

通常モードで撮影する

1. **【ファンクションスイッチ】を［REC］（撮影）の位置に合わせます。**
2. **【MODE】を押します。**
3. **【＋】または【－】で［ムービー撮影］マーク（ ）を選び【シャッター】を押します。**



4. **撮影する被写体にフレームを合わせ【シャッター】を半押しします。**
   - オートフォーカスが被写体の動きに応じて、追従を開始します。
5. **ピントが合っていることを確認して【シャッター】を押します。**

過去モードで撮影する（メモリー撮影）

1. **「通常モードで撮影する」の手順1～3の操作をします。**
   - 「撮影メニュー」（50ページ）で「ムービー設定 → 撮影方法 → 過去撮り」を選択してください。
2. **撮影する被写体にフレームを合わせ【シャッター】を半押しします。**
   - オートフォーカスが被写体の動きに応じて追従を開始します。
   - 設定されている撮影時間によって、3.2／6.4／9.6秒間「STAND BY」と表示され、この間は【シャッター】を押しても、記録が開始できません。



3. **被写体を追い続け、決定的瞬間が終わったら【シャッター】を押して、撮影します。**
   - 設定されている撮影時間に応じて【シャッター】を押した時点からさかのぼって記録されます。

重要! ムービー撮影モードでは、フラッシュの発光はしません。

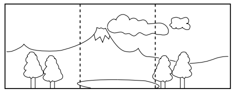
●ムービー撮影時の記録枚数

撮影形式	撮影時間	320×240	160×120
JPEG形式	3.2秒	6セット	27セット
	6.4秒	3セット	13セット
	9.6秒	2セット	9セット
AVI形式	3.2秒	8セット（約896KB/枚）	30セット（約224KB/枚）
	6.4秒	4セット（約1792KB/枚）	16セット（約448KB/枚）
	9.6秒	3セット（約2100KB/枚）	10セット（約672KB/枚）

※8MBメモリーカード使用時

パノラマ撮影

複数の画像をつなぎ合わせて、パノラマ画像を作ることができます。



1. **【ファンクションスイッチ】を［REC］（撮影）の位置に合わせます。**
2. **【MODE】を押します。**
3. **【＋】または【－】で［パノラマ撮影］マーク（ ）を選び【シャッター】を押します。**



4. **撮影する被写体にフレームを合わせて【シャッター】を半押しします。**

5. **ピントが合っていることを確認して【シャッター】を押します。**

6. **前回撮影した画像が残像になって画面左端に表示されます。**

- ２枚目以降は、前回の残像と今回のフレームが重なるように合わせて撮影してください。
- 最大９枚までを１グループとして撮影し、パノラマ再生することができます。途中で撮影を終了したい場合は【MENU】を押します。

参考
- パノラマ撮影時の絞りとホワイトバランスは、１枚目を撮影したときの状態でロックされて２枚目以降の撮影をします。
- パノラマ撮影は、10枚目以降も可能です。パソコンのソフトで10枚以上合成する場合に利用できます。

夜景撮影

夜景撮影は、暗い場所で撮影するときに使用します。
- 夕暮れや夜景などをバックに人物を撮影する場合などにフラッシュと夜景撮影モードを組み合わせることで、スローシンクロ撮影をすることができます。



1. **【ファンクションスイッチ】を［REC］（撮影）の位置に合わせます。**

2. **【MODE】を押します。**

3. **【＋】または【－】で［夜景撮影］マーク（☽）を選び【シャッター】を押します。**



4. **通常撮影と同様に【シャッター】を押して撮影します。**

重要!
- 夜景撮影では、シャッタースピードが遅くなるので、必ず三脚を使用し、カメラを固定してください（手ぶれ警告は表示されません）。
- 暗いところでは、ピントが合いづらいことがあります。そのときは、マニュアルフォーカス（42ページ参照）をお使いください。また、動きの早い被写体ではぶれる場合があります。
- シャッタースピードが遅くなるため、液晶画面の表示速度も遅くなります。
このため、画面に表示される画像と実際に記録される画像が一致しないことがあります。
- 速写での撮影は、５枚までしかできません。
- 画質設定の「コントラスト」の設定を変更しても効果はかかりません（50ページ）。

AEB（段階露出）撮影

1回の撮影で露出値を変化させた3枚の画像を撮影できます。
- －0.5EV、±0EV、＋0.5EVで撮影されます。

1. **【ファンクションスイッチ】を［REC］（撮影）の位置に合わせます。**

2. **【MODE】を押します。**

3. **【＋】または【－】で［AEB］マーク（AEB）を選び【シャッター】を押します。**



4. **通常撮影と同様に【シャッター】を押して撮影します。**

- ３枚撮影するため、記録に時間がかかります。

重要! AEB（段階露出）撮影モードでは、フラッシュの発光はしません。

多重露出撮影

保存してある画像に、新たに画像を撮影して合成することができます。
多重露出撮影の種類には、３通りの方法があります。

明るい方優先 .... ２枚の画像の輝度値を比較して明るい方の情報を優先して合成します。
暗い方優先 .... ２枚の画像の暗い方の情報を優先して合成します。
平均 .... ２枚の画像の平均をとります。

設定方法については、50ページの「撮影メニュー」を参照してください。



1. **【ファンクションスイッチ】を［REC］（撮影）の位置に合わせます。**

2. **【MODE】を押します。**

3. **【＋】または【－】で【多重露出撮影】マーク（▣）を選び【シャッター】を押します。**



4. **【＋】または【－】で重ね合わせる画像を選び【シャッター】を押します。**

- “撮影”を選択すると、重ね合わせる画像を１枚撮影します。

5. **液晶画面に半透過で表示している画像に被写体を合わせて【シャッター】を押します。**

セルフタイマー撮影

セルフタイマー撮影の種類には、2通りの方法があります。

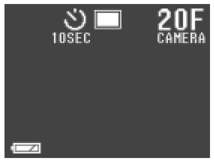
10秒後に撮影 .... 撮影者が写るときに使用します。
2秒後に撮影 ....【シャッター】を押すときの手ぶれを防ぐことができます。

撮影開始時間の切り替えはメニュー設定画面で変更します。詳しい操作方法は、50ページ「撮影メニュー」を参照してください。

1. **【ファンクションスイッチ】を［REC］（撮影）の位置に合わせます。**

2. **【✿・⏲】を何回か押して「セルフタイマー撮影」マーク（⏲）を表示させます。**

- 【✿・⏲】を押すごとに、セルフタイマー → マクロ → マクロ＋セルフタイマー → 標準の順番で撮影状態が切り替わります。



3. **通常撮影と同様に【シャッター】を押して撮影します。**

- 【セルフタイマー用ランプ】が点滅してカウントを知らせます。また、10秒後に撮影時は、カウントダウンが始まると、液晶画面が自動的に消えます（撮影が終了するとつきます）。
- カウントダウン中に【シャッター】を押すと、セルフタイマー撮影を解除することができます。

タイマー撮影

撮影方法には、以下の３つがあります。

- 現時点からの一定間隔の繰り返し撮影（インターバル撮影）
- 設定した時間に1枚撮影（タイマー撮影）
- 設定した時間から一定間隔で撮影（インターバルタイマー撮影）

1. **【ファンクションスイッチ】を**[REC]**（撮影）の位置に合わせます。**
2. 【MENU】**を押します。**
3. **【＋】または【－】で［タイマー撮影］マーク（⏻）を選び【シャッター】を押します。**
4. **【＋】または【－】で“撮影枚数”を設定して【シャッター】を押します。**
   - １枚に設定した場合は、手順6に進みます。
5. **【＋】または【－】で“撮影間隔”を設定して【シャッター】を押します。**
   - 1分～60分まで1分単位で設定できます。
6. **【＋】または【－】で“開始時間”を設定して【シャッター】を押します。**
   - 開始時間の設定は、現在から24時間以内の設定です。
7. **【＋】または【－】で“分”を設定して【シャッター】を押します。**
8. **被写体にフレームを合わせて【シャッター】を押します。**
   - 設定時間になると【動作確認用ランプ】が点灯し撮影が開始されます。

タイマー撮影をキャンセルする

タイマー撮影中に電源を入れると、「タイマー撮影がキャンセルされました」と表示され、タイマー撮影はキャンセルされます。

撮影メニュー

画質モード、ホワイトバランス、ムービー撮影時間などを設定することができます。
好みや撮影状況によって設定を変更してください。

画質設定	撮影画質	画質の精度が「超高精細（S）」「高精細（F）」「標準（N）」「エコノミー（E）」から選べる（38ページ）
	シャープネス（画質補正）	強い／普通／弱いの切り替えができる 人物を撮影したときの輪郭などが変わる 強い：画像がくっきり撮影される 弱い：画像がやわらかく撮影される
	彩　度	高い／普通／低いの切り替えができる 色の鮮やかさが変わる 高い：画像が濃く撮影される 低い：画像が淡く撮影される
	コントラスト	高い／普通／低いの切り替えができる 色の明るさが変わる（夜景撮影では、効果はかかりません） 高い：画像が明るく撮影される 低い：画像が暗く撮影される
撮影機能1	速写設定	速写撮影機能のオン／オフの切り替えができる オンにしたときは、約0.5秒間隔（液晶画面ON時は約１秒間隔）で撮影することができる
	フォーカス方式	フォーカス撮影機能のAF（オートフォーカス）／MF（マニュアルフォーカス）の切り替えができる

撮影機能1	測光方式	マルチ／中央重点／スポットの切り替えができる マルチ　：画面全体を分割して測光バランスのとれた露出が得られる 中央重点：中央部分を重点に測光 スポット：画面の中央部のごく狭い部分を測光周囲の明るさの影響を受けず、写したい被写体に露出を合わせることができる
	ホワイトバランス	オート／太陽光／日陰／電球／蛍光灯／マニュアルの切り替えができる ホワイトバランスとは、被写体を自然の色合いで撮影できるように白色系の部分を基準に調整することをいう 太陽光：屋外での撮影時に設定 日　陰：日陰で青みがかっているときに設定 電　球：電球下で赤みがあるときに設定 蛍光灯：蛍光灯下で緑がかっているときに設定 ﾏﾆｭｱﾙ：現在の光源の元で、白紙を撮影して設定（52ページ）
	色	撮影するときにカラー／白黒／セピアの切り替えができる
撮影機能2	セルフタイマー	セルフタイマーの撮影開始時間10秒／2秒の切り替えができる
	グリッド表示	液晶ファインダーに方眼表示する 水平／垂直を合わせて撮影するときに便利
	タイムスタンプ	撮影するときに日付の写し込み、オフ／年月日／日時分／年月日時分の切り替えができる 写し込まれた日付だけを削除することはできない

撮影機能2	格納フォルダ	撮影するときのフォルダを選択することができる
	多重露出方式	多重露出撮影するときの合成パターン、明るい方優先／暗い方優先／平均の切り替えができる
ムービー設定	ファイル形式	ムービー撮影した画像の保存形式、動画ファイル（AVI）／分割画像（JPG）の切り替えができる
	サイズ	撮影サイズの切り替えができる １コマが、320×240pixels、160×120pixelsの切り替えができる
	記録時間	ムービー撮影するときの撮影時間、3.2／6.4／9.6秒の切り替えができる
	撮影方法	ムービー撮影するときのモード、通常／過去撮りの切り替えができる

1. **【ファンクションスイッチ】を**[REC]**（撮影）の位置に合わせます。**
2. 【MENU】**を押します。**
3. **【＋】または【－】で“分類”を選び【シャッター】を押します。**



4. **【＋】または【－】で設定を変更する項目を選び【シャッター】を押します。**



5. **【＋】または【－】で変更内容を選び【シャッター】を押します。**
   - 他の項目の変更をする場合は、手順4～5の操作を繰り返します。
6. **【＋】または【－】で“終了”を選び【シャッター】を押します。**

参考
- フォーカス方式、測光方式、ホワイトバランスについては、カスタム設定のモードメモリーの設定が“オン”のときのみ電源をOFFにしても設定内容は変わりません。また、それ以外の項目については、電源をOFFにしても設定内容は変わりません。

■マニュアルホワイトバランスの設定方法について

オートホワイトバランスでは、光源によってオートホワイトバランス処理に時間がかかったり、調整できる範囲（色温度）に限界があります。マニュアルホワイトバランスを使うと、さまざまな光源下で適正な色に調整することができます。
マニュアルホワイトバランスの設定は、白い紙などを画面一杯に写した状態で行なってください。

1. **【ファンクションスイッチ】を**[REC]**（撮影）の位置に合わせます。**
2. 【MENU】**を押します。**
3. **【＋】または【－】で“撮影機能１”を選び【シャッター】を押します。**
4. **【＋】または【－】で“ホワイトバランス”を選び【シャッター】を押します。**
5. **【＋】または【－】で“マニュアル”を選び【シャッター】を押します。**

6. **【DISP】を押してホワイトバランスのマニュアル設定を開始させます。**

- このとき、画面全体に白い紙などを写しておきます。
- ここで【シャッター】を押すと前回の「マニュアルホワイトバランス」の設定値になります。
- 【DISP】を押すと、ホワイトバランスが設定され、手順5の画面に戻ります。ここで【シャッター】を押すと、設定状態から抜けます。
- なかなか完了しないときは【シャッター】を押すと、その時点の「マニュアルホワイトバランス」設定値になります。

参考 「マニュアルホワイトバランス」は白い紙などを用いて設定しますが、カメラ店、写真店などで市販されている標準反射版が最適です。

カスタム設定

省電力モードの設定や、各種撮影機能の状態を記憶させることができます。

省電力（パワーセーヴ）設定

電池の消耗を抑えるために、以下の２通りの設定ができます。

項　　目	内　　容
スリープ（スタンバイ機能）	撮影モード時に一定時間操作をしないと、液晶画面をOFFにする • スリープ中に【シャッター】を押すと、スリープ解除してすぐに撮影できる（30秒、1分、２分とスリープ機能が働かない“オフ”から選べる）
オートパワーオフ	撮影モード時に一定時間操作をしないと、電源をOFFにする（2分、5分、10分から選べる）

- スリープとオートパワーオフの設定が共に２分の場合は、オートパワーオフの方を優先します。すなわち、２分間操作をしないと、電源がOFFになります。

1. **【ファンクションスイッチ】を［REC］（撮影）の位置に合わせます。**

2. **【MODE】を押します。**

3. **【＋】または【－】で[カスタム設定]マーク（CUSTOM）を選び【シャッター】を押します。**



4. **【＋】または【－】で“パワーセーヴ”を選び【シャッター】を押します。**

5. **【＋】または【－】で設定項目を選択し【シャッター】を押します。**

6. **【＋】または【－】で内容を選び【シャッター】を押します。**

7. **設定が終了したら【MENU】を押します。**

モードメモリー設定（ラストメモリー機能）

モードメモリーとは、電源をOFFにしたときでも直前の状態を記憶しておく機能です。
以下の内容で記憶できます。

項　　目	内　　容
撮影モード	電源を切る前に撮影したモード
フラッシュ	フラッシュの発光モード
フォーカス方式	オートフォーカス／マニュアルフォーカス撮影の状態
測光方式	撮影メニュー（50ページ）で設定した測光方式
ホワイトバランス	撮影メニュー（50ページ）で設定したホワイトバランス

“オン”時 -------------- 電源をOFFにしたときに、以下の内容で撮影した状態を記憶します。
“オフ”時 -------------- 電源をOFFにしたときに、以下の内容に戻ります。

モードメモリーの項目	オン	オフ
撮影モード	通常／連写／ムービー／AEB／多重露光／パノラマ／タイマー／夜景	通常
フラッシュ	オート／⚡／⚡̸／◉	オート
フォーカス方式	オート／マニュアル	オート
測光方式	マルチ／スポット／中央重点	マルチ
ホワイトバランス	オート／太陽光／日陰／電球／蛍光灯／マニュアル	オート

1. **「省電力（パワーセーヴ）設定（53ページ）」の手順1〜3の操作をします。**

2. **【＋】または【－】で“モードメモリー”を選び【シャッター】を押します。**



3. **【＋】または【－】で設定項目を選択し【シャッター】を押します。**

4. **【＋】または【－】で内容を選び【シャッター】を押します。**

5. **設定が終了したら【MENU】を押します。**

カスタム設定のリセット

省電力（パワーセーヴ）、モードメモリー中の、それぞれの項目の設定を初期値に戻すことができます。

1. **「省電力（パワーセーヴ）設定（53ページ）」の手順1〜3の操作をします。**

2. **【＋】または【－】で“リセット”を選び【シャッター】を押します。**
すべての項目がリセットされます。

カスタム設定項目	初期値
パワーセーヴ	
スリープ	1分
オートパワーオフ	2分
モードメモリー	
撮影モード	オフ：通常撮影
フラッシュ	オン：（オート）
フォーカス方式	オフ：（オート）
測光方式	オフ：（マルチ）
ホワイトバランス	オフ：（オート）

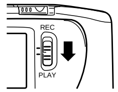
再生する

ここでは、撮影した内容のいろいろな見かたを説明します。

基本的な再生

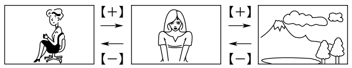
本機は液晶画面を備えているので、記録されている内容を本機だけで確認することができます。記録されている内容は、メモ帳のページをめくる要領で、順次送ったり戻したりしながら見ることができます。

1. **【ファンクションスイッチ】を［PLAY］（再生）の位置に合わせます。**



2. **【＋】または【－】を押します。**

- 【＋】を押すと後ろの画像が表示され【－】を押すと前の画像が表示されます。
- 【＋】または【－】を押し続けると画像が早く送られます。



参考
- 撮影を行なった直後に【ファンクションスイッチ】を［PLAY］（再生）の位置にした場合は、今撮影した内容が表示されます。
- 初めに表示される画像は、簡易画像のため粗い表示になっていますが、数秒後に精細な画像として表示されます（ビデオ出力時の簡易画像表示中は、画面の右上に「PREVIEW」と表示されます）。

ムービー再生機能

ムービーモードで撮影した画像を再生することができます。

1. **【ファンクションスイッチ】を［PLAY］（再生）の位置に合わせます。**
2. **【＋】または【－】でムービー撮影した画像を表示させます。**



3. **【シャッター】を押すとムービー再生を始めます。**
   - ムービー再生中に【＋】または【－】を押すと再生方向を切り替えることができます。
   - ムービー再生中に【シャッター】を押すと一時停止します。この状態で【＋】または【－】を押すと、「コマ送り」「コマ戻し」ができます。
   - ムービー再生／一時停止中に【DISP】を押すと、1/4画面→全画面表示の順で切り替わります。
4. **ムービー再生を終了するには【MENU】を押します。**

ムービー編集機能について

ムービー撮影された画像は、デジタルカメラ内で通常4枚1組のグループとして管理されています。
しかし、一度パソコンに転送し再び本機に戻すと、このグループが解除されていてムービー再生することができません。
このときは、以下の方法でグループ化の処理を行なってください。

重要!
- ムービー設定の「ファイル形式 → JPEG」に設定して撮影した画像のみ有効です（50ページ）。
- 静止画で画質がエコノミー（E）でないとグループ化できません。
- ムービー情報が含まれている画像は、その情報を元にムービーのグループ化を行ないます。
- ムービー情報が無い画像（パソコン等で保存した画像など）の場合は、160×120のサイズで作成されます。

■ムービー画像をグループ化する

1. **【ファンクションスイッチ】を［PLAY］（再生）の位置に合わせます。**
2. **【＋】または【－】でグループ化をする画像の先頭のページを選びます。**
3. **【MENU】を押します。**

4. **【＋】または【－】で“ツール”を選び【シャッター】を押します。**
5. **【＋】または【－】で“グループ化”を選び【シャッター】を押します。**
6. **【＋】または【－】で“ムービー”を選び【シャッター】を押します。**



7. **【＋】または【－】でグループ化したい画像の最後の画像を選び【シャッター】を押します。**

■ムービー画像をグループ解除する

重要! ムービー撮影時の「ファイル形式」をAVI形式（AVIフォルダ）で保存しているデータは、グループ解除することができません。

1. **【＋】または【－】でグループ解除したい画像を選びます。**
2. **【MENU】を押します。**
3. **【＋】または【－】で“ツール”を選び【シャッター】を押します。**
4. **【＋】または【－】で“グループ化”を選び【シャッター】を押します。**



5. **【シャッター】を押すと、グループが解除されます。**

パノラマ再生機能

パノラマモードで撮影した画像をスクロール再生することができます。

1. **【ファンクションスイッチ】を［PLAY］（再生）の位置に合わせます。**
2. **【＋】または【－】でパノラマ撮影した画像を表示させます。**



3. **【シャッター】を押すとパノラマ再生を始めます。**
   - パノラマ再生中に【＋】または【－】を押すとスクロール方向を切り換えることができます。
   - パノラマ再生中に【シャッター】を押すと一時停止します。この状態で【＋】または【－】を押すと「コマ送り」「コマ戻し」ができます。
   - パノラマ再生／一時停止中に【DISP】を押すと、ワイド画面 → 全画面表示の順で切り替わります。



4. **パノラマ再生を終了するには【MENU】を押します。**

パノラマ編集機能について

パノラマ撮影された画像は、デジタルカメラ内で通常グループとして管理されています。
しかし、一度パソコンに転送し再び本機に戻すと、このグループが解除されていてパノラマ再生することができません。
このときは、以下の方法でグループ化の処理を行なってください。

■パノラマ画像をグループ化する

重要! ムービー撮影した画像や、画質モードの違う画像をグループ化することはできません。

1. **【ファンクションスイッチ】を［PLAY］（再生）の位置に合わせます。**
2. **【＋】または【－】でグループ化をする画像の先頭のページを選びます。**
3. **【MENU】を押します。**
4. **【＋】または【－】で“ツール”を選び【シャッター】を押します。**
5. **【＋】または【－】で“グループ化”を選び【シャッター】を押します。**
6. **【＋】または【－】で“パノラマ”を選び【シャッター】を押します。**



7. **【＋】または【－】でグループ化したい画像の最後の画像を選び【シャッター】を押します。**

重要! グループ化できるのは、9枚の画像です。

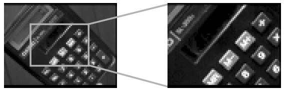
■パノラマ画像をグループ解除する

1. **【＋】または【－】でグループ解除したい画像を選びます。**
2. **【MENU】を押します。**
3. **【＋】または【－】で“ツール”を選び【シャッター】を押します。**
4. **【＋】または【－】で“グループ化”を選び【シャッター】を押します。**
5. **【シャッター】を押すと、グループが解除されます。**

画像を拡大して表示する

撮影した画像を、部分的に２倍／４倍に拡大して表示させることができます。1画面表示の状態から、以下の操作を行なってください。

重要! ムービー撮影／パノラマ撮影した画像に対しては実行できません。



1. **【ファンクションスイッチ】を［PLAY］（再生）の位置に合わせます。**

2. **【＋】または【－】で拡大表示したい画像を表示させます。**

3. **【MENU】を押します。**

4. **【＋】または【－】で"表示"を選び【シャッター】を押します。**

5. **【＋】または【－】で"拡大"を選び【シャッター】を押します。**

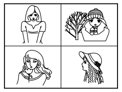
6. **【＋】／【－】／【✿・⏲】／【⚡/📁】を使って拡大表示する場所を移動することができます。**

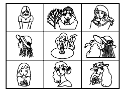
7. **【ZOOM】を押して、２倍／４倍を切り替えます。**

8. **拡大表示を終了するには【＋】／【－】／【✿・⏲】／【⚡/📁】／【DISP】／【ZOOM】以外のボタンを押します。**

１つの画面に複数画像を表示する

撮影した内容を、４枚または９枚同時に一覧表示させることができます。
大画面テレビに表示してカタログ的に楽しんだり、プレゼンテーションなどで威力を発揮します。





1. **【ファンクションスイッチ】を［PLAY］（再生）の位置に合わせます。**

2. **【MENU】を押します。**

3. **【＋】または【－】で"表示"を選び【シャッター】を押します。**

4. **【＋】または【－】で"4画面"または"9画面"を選び【シャッター】を押します。**

- 最初に表示していた画面を先頭として４画面、９画面がそれぞれ表示されます。

5. **【＋】または【－】を押すごとに別の画像を表示できます。**



6. **複数画面表示を終了するには【＋】／【－】／【DISP】以外のボタンを押します。**

参考 複数画面表示中の画面の明るさは、最も明るい画面に合わせられます。

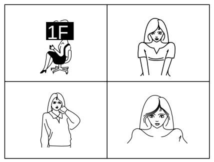
１画像を選んで表示する

複数画面表示を使うと、すばやく目当ての画面を探して１画面表示させることもできます。

1. **複数画面表示に切り替えます。**

2. **【DISP】を押します。**

- 左上の画像のページ番号が表示されます。



3. **【＋】または【－】でページ番号表示を目当ての画像に移動させ【シャッター】を押します。**

- 目当ての画像が１画面表示されます。



スライドショー機能

撮影した内容を、自動的に次々とページめくりしていく機能です。ページめくりの間かくを設定することもできます。



重要!
- スライドショー中は、本機のオートパワーオフ機能（本機の操作を行なわないと、一定時間後に自動的に電源が切れる機能、29ページを参照）が働きません。このため、電池で本機を使用しているときにスライドショーをしたまま忘れて放置してしまうと、確実に電池が消耗します。スライドショーで撮影した内容を見た後は、必ずスライドショーを終了して、電源を切るようにしてください。
- スライドショーは、設定しているフォルダ内の画像だけを表示します。

スライドショーを開始する

1. **【ファンクションスイッチ】を［PLAY］（再生）の位置に合わせます。**

2. **【MENU】を押します。**

3. **【＋】または【－】で"表示"を選び【シャッター】を押します。**

4. **【＋】または【－】で"スライドショー"を選び【シャッター】を押します。**

- スライドショーが始まります。

5. **スライドショーを終了するには【MENU】以外のボタンを押します。**

- 画面のスクロール中はボタン操作が効かなくなります。画面の静止中にボタンを押してください。なかなか停止しない場合は、しばらくボタンを押し続けてください。

スライドショーの設定

ページめくりの間かく（５～３０秒）の設定を行なうことができます。

1. **「スライドショーを開始する」（63ページ参照）の手順に従って、まずスライドショーを開始します。**

2. **【MENU】を押します。**

- 画面の静止中に押してください。

3. **【＋】または【－】でページめくりの間かく（５～30秒）を選び【シャッター】を押します。**

- 指定したページめくりの間かくでスライドショーを開始します。

スクリーンセーバー機能

本機を操作しないで５分間放置しておくと、自動的にページめくり（スライドショー機能）を開始する機能です。
液晶画面や、テレビ、モニターなどの焼き付け防止に役立ちます。

重要!
- 撮影モード時は、機能しません。
- ACアダプターを使用していないと、機能しません。
- 表示されている内容はすべてのフォルダ内のメモリープロテクト（68ページ）されている画像だけです。
- メモリープロテクトされた画像がないときや"画像がありません"と表示されている状態では実行できません。
- 工場出荷時に、スクリーンセーバー機能は"オン"になっていますので、パソコンリンクソフトで通信するときは"オフ"にしてください。

1. **別売品の専用ACアダプター（AD-C620）を接続します。**

2. **【ファンクションスイッチ】を［PLAY］（再生）の位置に合わせます。**

3. **【MENU】を押します。**

4. **【+】または【−】で“ 設定 ”を選び【シャッター】を押します。**

5. **【+】または【−】で“ スクリーンセーバー ”を選び【シャッター】を押します。**

6. **【+】または【−】で“ オン ”を選び【シャッター】を押します。**

- スクリーンセーバーの機能が設定されます。
- ５分間無操作状態が続くと、スクリーンセーバーを開始します。ページめくりの間隔はスライドショーと同じです。
- スクリーンセーバーの機能を解除する場合は“ オフ ”を選びます。

7. **スクリーンセーバーを終了するには何かボタンを押します。**

- 画面のスクロール中はボタン操作が効かなくなります。画面の静止中にボタンを押してください。なかなか停止しない場合は、しばらくボタンを押し続けてください。

フォルダ分類について

フォルダを使うと「仕事」「プライベート用」など、撮影した画像を分類することができます。

- CAMERA／FOLDER A／FOLDER B／FOLDER C／FOLDER D／FOLDER Eとムービー画像用のAVIがあります。
- 撮影時には、通常「CAMERA」フォルダに記録されます。ただし、ムービー画像の「ファイル形式」をAVI形式に設定している場合は、AVIに保存されます。撮影時に記録するフォルダを変更するときは、５０ページの「撮影メニュー」を参照してください。

参考 １フォルダに画像を最大２５０枚まで保存できます（カードの種類や画質によって異なります。）。

再生したいフォルダを選択する

1. **【ファンクションスイッチ】を［PLAY］（再生）の位置に合わせます。**

2. **【⚡/📁】を１回押すごとにフォルダが順次切り替わります。**

フォルダ内の画像を選択して別のフォルダに移動する

重要! 最初に移動したい画像のあるフォルダに合わせておいてください。

1. **【ファンクションスイッチ】を［PLAY］（再生）の位置に合わせます。**

2. **【MENU】を押します。**

3. **【+】または【−】で“ ツール ”を選び【シャッター】を押します。**

4. **【+】または【−】で“ 移動 ”を選び【シャッター】を押します。**

5. **【+】または【−】で移動先のフォルダを選び【シャッター】を押します。**

6. **【+】または【−】で“ 選択画像 ”を選び【シャッター】を押します。**



7. **【+】または【−】で移動する画像を選び【シャッター】を押します。**

- 選択した画像には“ ★ ”マークが付きます。
- 複数枚移動する場合は、手順７を繰り返します。

8. **【DISP】を押します。**

フォルダ内のすべての画像を一度に別のフォルダに移動する

重要! 最初に移動したい画像のあるフォルダに合わせておいてください。

1. **「フォルダ内の画像を１枚ずつ別のフォルダに移動する」の手順１〜５の操作をします。**

2. **【+】または【−】で“ フォルダ一括 ”を選び【シャッター】を押します。**

メモリープロテクト機能について

必要な画像を誤って消去してしまわないために、本機には「メモリープロテクト」（誤消去防止）機能が付いています。メモリープロテクトされた画像は、消去機能（70ページ）で消されることはありません。メモリープロテクトのかけ方には、「1画像単位」「フォルダ単位」「全画像」の３つの方法があります。

重要! 画像データにメモリープロテクトをかけていても、「メモリーカードのフォーマット（初期化）（26ページ）」を行なうと、すべてのデータが消去されます。

1画像単位でメモリープロテクトをかける／解除する

1. **【ファンクションスイッチ】を［PLAY］（再生）の位置に合わせます。**

2. **【MENU】を押します。**

3. **【+】または【−】で“ ツール ”を選び【シャッター】を押します。**

4. **【+】または【−】で“ プロテクト ”を選び【シャッター】を押します。**

5. **【+】または【−】で“ 選択画像 ”を選び【シャッター】を押します。**



6. **【+】または【−】でメモリープロテクトをかけたり解除する画像を表示させます。**

7. **【シャッター】を押して、メモリープロテクトをかけたり解除します。**

- 複数枚行なう場合は、手順**6**〜**7**を繰り返します。

8. **【DISP】を押します。**

- プロテクト設定時 ...... 指定した画像の左上に鍵マーク“ 🔒 ”が表示されます（画面情報表示（22ページ）設定時）。
- プロテクト解除時 ...... 指定した画像の左上の鍵マーク“ 🔒 ”が消えます（画面情報表示（22ページ）設定時）。

フォルダ単位でメモリープロテクトをかける／解除する

1. 【⚡/📁】を押してフォルダを選びます。

2. 「1画像単位でメモリープロテクトをかける／解除する」の手順1〜4の操作をします。

3. 【+】または【−】で"フォルダ画像"を選び【シャッター】を押します。

4. 【+】または【−】で"オン"(プロテクト設定時)または"オフ"(プロテクト解除時)を選び【シャッター】を押します。
   - プロテクト設定時 ...... フォルダのすべての画像の左上に鍵マーク"🔒"が表示されます(画面情報表示(22ページ)設定時)。
   - プロテクト解除時 ...... フォルダのすべての画像の左上の鍵マーク"🔒"が消えます(画面情報表示(22ページ)設定時)。

全画像にメモリープロテクトをかける／解除する

1. 「1画像単位でメモリープロテクトをかける／解除する」の手順1〜4の操作をします。

2. 【+】または【−】で"全画像"を選び【シャッター】を押します。

3. 【+】または【−】で"オン"(プロテクト設定時)または"オフ"(プロテクト解除時)を選び【シャッター】を押します。
   - プロテクト設定時 ...... すべての画像の左上に鍵マーク"🔒"が表示されます(画面情報表示(22ページ)設定時)。
   - プロテクト解消時 ...... すべての画像の左上の鍵マーク"🔒"が消えます(画面情報表示(22ページ)設定時)。

画像を消去する

画像を消去する方法には、「1画像単位」「フォルダ単位」「全画像」の3つの方法があります。

重要!
- 一度消去してしまった撮影内容は、二度と元に戻すことはできません。消去の操作を行なう際は、本当に不要な画像かどうかをよく確かめてから行なってください。特に、全画像消去の操作では、撮影したすべての内容を一度に消去してしまいますので、内容をよく確かめてから操作してください。
- すべての画像がメモリープロテクトされている状態では、実行できません。
- メモリープロテクトのかかった画像は消去できません。68ページを参照してメモリープロテクトの解除を行なってから操作をしてください。

1画像単位で消去する

1画像ずつ確認しながら消去する方法です。

1. 【ファンクションスイッチ】を[PLAY](再生)の位置に合わせます。

2. 【MENU】を押します。

3. 【+】または【−】で"消去"を選び【シャッター】を押します。

4. 【+】または【−】で"選択画像"を選び【シャッター】を押します。



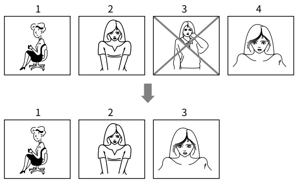
5. 【+】または【−】で消去したい画像を表示させます。
   - メモリープロテクトされている画像は表示されません。

6. 【シャッター】を押します。
   - 選択した画像には"🗑"マークが付きます。
   - 複数枚消去する場合は、手順5〜6を繰り返します。

7. 【DISP】を押します。

8. 【+】または【−】で"はい"を選び【シャッター】を押します。
   - ムービー撮影／パノラマ撮影した画像は、グループ単位で消去されます。

参考 1画像消去を行なうごとに、ページの空きができないように自動的に「ページ詰め」が行なわれます。



フォルダ単位ですべての画像を消去する

フォルダごとに画像を消去する方法です。

1. 【ファンクションスイッチ】を[PLAY](再生)の位置に合わせます。

2. 【⚡/📁】を押して消去したいフォルダを選びます。

3. 「1画像単位で消去する」の手順2〜3の操作をします。

4. 【+】または【−】で"フォルダ画像"を選び【シャッター】を押します。



5. 【+】または【−】で"はい"を選び【シャッター】を押します。
   - 現在のフォルダ内の画像がすべて消去され、画面に"画像がありません"と表示されます。
   - メモリープロテクトをかけている画像がある場合は、メモリープロテクトをかけている最初の画像が表示されます。

全画像を消去する

画像のすべてを一度に消去する方法です。

1. 「1画像単位で消去する」の手順1〜3の操作をします。

2. 【+】または【−】で"全画像"を選び【シャッター】を押します。



重要! 次の操作を行なうと、画像のすべてが消去されます。すべて消去してよいかどうか確認がお済みでない場合は、ここで【MENU】を押して一度元の画面に戻り、再度撮影内容をご確認の上、はじめから操作を行なうことをお勧めします。

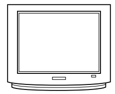
3. 【+】または【−】で"はい"を選び【シャッター】を押します。
   - すべての画像が消去され、画面に"画像がありません"と表示されます。
   - メモリープロテクトをかけている画像がある場合は、メモリープロテクトをかけている最初の画像が表示されます。

接続に使う端子について

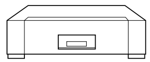
本機は、接続用の端子として「ビデオ出力端子」と「デジタル端子」の2つを備えており、テレビやビデオ、パソコンなどさまざまな機器と接続して使うことができます。

ビデオ出力端子に接続

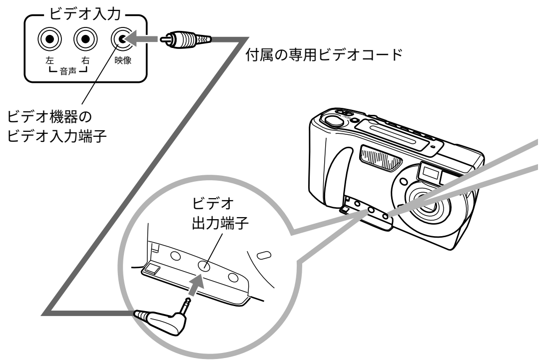
テレビ　→76ページ

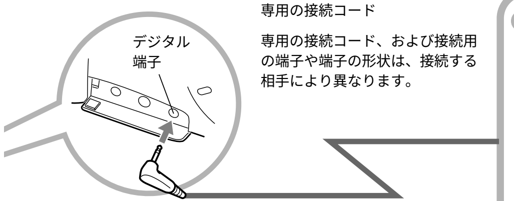


ビデオ、ビデオプリンター



撮影した内容をビデオに録画したり、ビデオプリンターで印刷することができます。



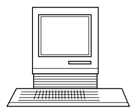


専用の接続コード

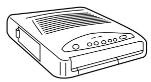
専用の接続コード、および接続用の端子や端子の形状は、接続する相手により異なります。

デジタル端子に接続

パソコン
→77ページ



QVカラープリンター
→77ページ

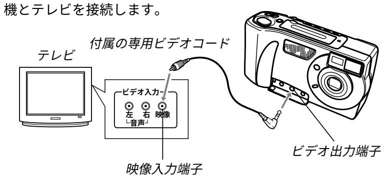


重要!
- 接続は、本機と外部機器の電源を切った状態で行なってください。
- 接続する外部機器側の取扱説明書を参照してください。
- テレビやパソコンのCRTに同一画像を表示して長時間放置しておきますと、残像現象（画ヤケ）をおこす場合がありますので、同一画像のまま長時間放置することはおやめください。
- 本機では、カシオのデジタルカメラ間でケーブルを通じて画像を送ることはできません。

接続のしかたと操作

テレビとの接続

本機で撮影した内容を、テレビ画面に映して見ることができます。テレビ画面に映すには、付属の専用ビデオコードを使って本機とテレビを接続します。



1. **付属の専用ビデオコードを使って、本機とテレビを接続します。**

2. **接続したら、テレビ側のチャンネルを「ビデオ入力」にセットします。**

3. **接続後の操作手順は、56ページ「基本的な再生」と同じです。**

重要!
- テレビを本機と接続するには、テレビ側が上記のイラストのような「映像入力端子」を備えている必要があります。
- バッテリー残量表示（29ページ）などの表示は、そのままテレビ画面に表示されますのでご注意ください。
- ビデオコードが本機に接続されると、液晶画面は消灯します。

ビデオ出力の方式を変更する場合

本機は、ビデオ出力の方式に合わせて、設定を変更することができます。
ビデオ出力の方式には、以下の２種類があります。

NTSC：日本やアメリカなどで使用している方式です。
PAL：ヨーロッパなどで使用している方式です。

1. **【ファンクションスイッチ】を[PLAY]（再生）の位置に合わせます。**

2. **【MENU】を押します。**

3. **【+】または【−】で“設定”を選び【シャッター】を押します。**

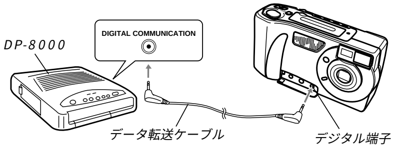
4. **【+】または【−】で“ビデオ出力”を選び【シャッター】を押します。**

5. **【+】または【−】でビデオ出力の方式を選び【シャッター】を押します。**

QVカラープリンターとの接続

QVカラープリンターと接続して、撮影内容をプリントすることができます。

接続できる機種：DP-300／DP-8000／DP-8800SX



1. **QVカラープリンターに付属の通信ケーブルを使って本機とQVカラープリンターを接続します。**
2. **接続したら【ファンクションスイッチ】を［PLAY］（再生）の位置に合わせ電源を入れます。**
   - QVカラープリンターでプリントする操作については、QVカラープリンターに付属の取扱説明書を参照してください。

重要!
- QVカラープリンターと接続したときは、ムービー撮影した画像は分割表示になります。また、パノラマ撮影した画像は1枚ずつの画像のままで、合成された画像としてプリントできません。
- AVI フォルダのムービー画像は、印刷できません。

パソコンとの接続

パソコンリンクケーブルでの接続

本機の撮影内容を、最も劣化の少ないデジタルデータの状態でパソコンに転送するための専用パソコンリンクケーブルおよび、パソコンリンクソフトが用意されています。専用パソコンリンクケーブルとパソコンリンクソフトを使うと、本機の撮影内容をパソコンにデータ送信したり、逆にパソコンの画像データを本機に取り込んだりすることができます。
パソコンの機種に応じた接続のしかた、本機の操作とパソコン上のソフトの使いかたについては、パソコンリンクソフトの取扱説明書をご参照ください。

使用できるケーブル（別売品）
NEC PC-9801／9821シリーズ用：QC-1N
IBM PC/AT互換機／PC98-NXシリーズ用：QC-1D
Macintosh用：QC-2MまたはQC-3M

- NEC PC-9801／9821シリーズの一部には、D-sub25ピン端子の他にD-sub9ピン端子も備えているものがあります。これらの機種で他の機器を併用する場合は、接続のしかたに合わせてQC-1NかQC-1Dのどちらかを選択してください。
- MacintoshのうちPowerMacまたはPowerBookのG3シリーズ、およびPowerBook 2400／3400シリーズではQC-2Mをご使用になれませんので、必ずQC-3Mをご使用ください。なお、iMacにはシリアル端子が無いためどちらもご使用になれません。

使用できるソフト（付属）
Windows版：LS-10W
Macintosh版：LS-11M

- Windows版、LK-1／LK-10NC／LK-10DV／LS-1W／LS-7Wおよび、Macintosh版、LK-2／LK-2A／LS-2M／LS-8Mの接続キット中のパソコンリンクソフトでは動作保証しておりませんのでご使用にならないでください。
- カシオのパソコンリンクソフトの動作環境については、パソコンリンクソフト側の取扱説明書を参照してください。

■パソコンリンクソフト(LS-10W／LS-11M)をご使用になる方へ

パソコンから画像をカメラへ転送（「カメラへ転送」または「画像の転送」）する場合、パソコンの画面上に「CAM形式に変換されます」と表示される場合がありますが、本機ではカメラ内の画像と同様に、すべてJPEG形式に変換されます。

■動画用データについて

パソコンリンクソフト（LS-10W／LS-11M）では、AVI形式のムービーは利用（保存、再生）できません。

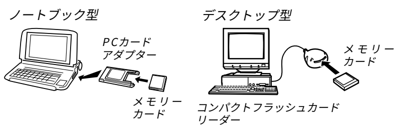
パソコンでメモリーカードをご利用になるには

メモリーカードの接続

パソコンとの画像のやりとりをメモリーカードから直接行なうことができます。パソコンの機種によって接続方法は異なります。代表的な接続例は以下の通りです。

- コンパクトフラッシュカードスロットのある機種
  コンパクトフラッシュカードを直接差し込みます。
- PCカードスロットのある機種
  別売のPCカードアダプター<CA-10>を使用します。PCカードアダプターとパソコンに付属の取扱説明書を参照してください。
- 一般の機種（デスクトップ型）

1）別売のコンパクトフラッシュカードリーダー<CF-1RW>を使用します。
2）市販のPCカード用リーダー／ライターと、別売のPCカードアダプター<CA-10>を使用します。
   - コンパクトフラッシュカードリーダー<CF-1RW>とPCカードアダプター／パソコンに付属の取扱説明書を参照してください。



メモリーカード内の注意事項

■メモリーカード内のディレクトリ構造

```
￥QVIMG02
├ QVCAM.QVS（管理ファイル）
├ INDEX.HTM（カードブラウザのメインのファイル）
├□HTML（カードブラウザ用フォルダ）
│ ├ MENU.HTM  （ここはカードブラウザ表示に必要な
│ ├ INDEX.HTM  ファイル、フォルダが含まれています。）
│   ⋮
├□CAMERA（画像フォルダ）
│ ├ CAMERA.QVS（フォルダ内管理ファイル）
│ ├□PREVIEW（プレビュー画像用フォルダ）
│ │ ├ yymdd001.JPG（プレビュー画像ファイル）
│ │ ├ yymdd002.JPG（プレビュー画像ファイル）
│ │   ⋮
│ ├□HTML（カードブラウザ用フォルダ）
│ │ ├ INDEX.HTM（フォルダ内HTMLファイル）
│ │ ├ DATA.HTM（フォルダ内HTMLファイル）
│ │   ⋮
│ ├ yymdd001.JPG（画像ファイル）
│ ├ yymdd002.JPG（画像ファイル）
│   ⋮
├□FOLDER A（画像フォルダ）
├□FOLDER B（画像フォルダ）
├□FOLDER C（画像フォルダ）
├□FOLDER D（画像フォルダ）
├□FOLDER E（画像フォルダ）
└□AVI（動画フォルダ）
  ├ AVI.QVS（フォルダ内管理ファイル）
  ├□PREVIEW（プレビュー画像用フォルダ）
  │ ├ yymdd001.JPG（プレビュー画像ファイル）
  │ ├ yymdd002.JPG（プレビュー画像ファイル）
  │   ⋮
  ├□HTML（カードブラウザ用フォルダ）
  │ ├ INDEX.HTM（フォルダ内HTMLファイル）
  │ ├ DATA.HTM（フォルダ内HTMLファイル）
  │   ⋮
  ├ yymdd001.AVI（動画ファイル）
  ├ yymdd002.AVI（動画ファイル）
```


- 管理ファイル
  フォルダの管理や画像の順番などの情報が記述されているファイル

- CAMERAフォルダ
  画像が記録されるフォルダ
  CAMERA, FOLDER A, FOLDER B, FOLDER C, FOLDER D, FOLDER E, AVI

- 画像ファイル
  デジタルカメラで撮影した画像ファイル　形式はJPEG形式
  ファイル名の作成については27ページを参照してください。

- PREVIEWフォルダ
  プレビュー画像が記録されるフォルダ

- プレビュー画像ファイル
  デジタルカメラで撮影したときに、画像ファイルと同時に記録される
  サイズの小さな画像ファイル　形式はJPEG形式
  デジタルカメラ内で、再生中にページ送りなどの際に用いられるファイル
  また、ブラウザで画像を一覧表示する際にも用いられる

- カードブラウザファイル（INDEX）／（MENU）／（DATA）
  デジタルカメラ内の画像をWebブラウザで一覧表示するためのファイル

■このデジタルカメラで扱える画像ファイル

- QV-5500SXで撮影した画像ファイル
- QV-LINK2.6（LS-10W Windows用）で保存したJPEGファイル（1280x960pixelsもしくは640x480pixelsのJPEGファイル）
- QV-CRAFTで保存したJPEGファイル（1280x960pixelsもしくは640x480pixelsのJPEGファイル）

パソコン上でメモリーカードを扱うときの注意点

- 本機では、管理ファイルにて画像ファイルなどの順番、属性を管理しています。従って、パソコン上でメモリーカード内のファイルを更新したり削除すると、管理ファイルの内容と画像ファイルの順番、属性とのつじつまが合わなくなり、メモリーカードをデジタルカメラに戻したときに、画像の順番が入れ替わったり、ムービー／パノラマ画像のグループが解除されたり、ページの送り／戻しが遅くなったりすることがあります。
- メモリーカードの内容をパソコンのハードディスクやフロッピーディスク、MOディスクなどに保存する際は“QVIMG02”フォルダごと保存し、その後パソコン上では管理ファイル（～.QVS）を更新したり削除しないでください。その際“QVIMG02”フォルダの名前を年月日などに変えておくとあとで整理するときに便利です。
ただし、パソコンのハードディスクなどに保存したファイルを再度メモリーカードに戻して本機で再生する場合は、フォルダ名をパソコン上で“QVIMG02”に戻してからご使用ください。本機では“QVIMG02”以外の名前のフォルダは認識されません（“QVIMG02”フォルダ内の“CAMERA”や“FOLDER A”などのフォルダ名を変えた場合も同様です。元の名前に戻してからご使用ください。）。
- 一度パソコンのハードディスクやフロッピーディスク、MOディスクなどにファイルを保存したあとのメモリーカードは、中のファイルをすべて削除するか、フォーマットしてからデジタルカメラで使うことをおすすめします。

＊Macintoshで扱うときの注意点

本機で扱うメモリーカードは、ATAフォーマットで初期化されるため、Macintosh上では、メモリーカード内のすべてのファイルがテキストファイルとして見なされます。
従って、画像ファイルを開く場合には、以下の注意が必要です。

PC EXCHAGEで、メモリーカード内の画像ファイル（～.JPG）をQV-LINK（もしくは他のJPEGファイルが開けるアプリケーション）に関連付けしてください。

カードブラウザ（HTMLファイル）機能

カードブラウザ機能とはブラウザソフトで本機で撮影した画像を一覧表示したり、撮影データを表示できる機能です。

- 本機で作成したカードブラウザは

Microsoft Internet Explorer Ver3.0以上
Netscape Navigator Ver2.0以上

のWebブラウザでご覧になれます（QV-LINKではご覧になれません）。また、動画（AVI）を再生するには、Quick Time3が必要です。

1. **【ファンクションスイッチ】を［PLAY］（再生）の位置に合わせます。**
2. **【MENU】を押します。**
3. **【+】または【−】で“設定”を選び【シャッター】を押します。**
4. **【+】または【−】で“カードブラウザ”を選び【シャッター】を押します。**



5. **【+】または【−】で“ファイルタイプ”を選び【シャッター】を押します。**
（ファイルタイプについては84ページ参照）
これで、電源OFF時に自動的にカードブラウザ用のファイルが作成されるようになります。
“オフ”を選ぶと、カードブラウザ作成機能が解除されます。
  - カードブラウザを作成すると、メモリーカード内のQVIMG02フォルダに“INDEX.HTM”ファイル他が作成されます。

重要!
- 本機では、電源スイッチをOFFにすると液晶画面は消灯しますが、【動作確認用ランプ】は点滅しています。この間は動作しており、自動的にカードブラウザを作成しています（カードブラウザ機能設定時）。
【動作確認用ランプ】点滅中に、下記の操作を行なうと、カードブラウザが作成されないばかりでなく、画像データ等メモリーカード内部のデータが破壊される恐れがあります。下記の操作は絶対に行なわないでください。

【動作確認ランプ】点滅中に
1. メモリーカードカバーを開ける（カードを抜く）
2. ACアダプターを抜く
3. 電池をはずす
4. その他異常操作を行なう

また、電池寿命末期やメモリーカードの容量が少ないときは、カードブラウザが正常に作成されない場合があります。

- 表示される言語は、表示メッセージの切り替え（32ページ）で変更できます。

■カードブラウザ機能の設定について

本機は、電源を切るときにカードブラウザファイルを作成しているため、メモリーカード内の画像枚数が多いと、電源が切れるまでの時間がかかることがあります。
カードブラウザファイルをご利用にならない場合は、カードブラウザ機能の設定を“オフ”にすることをおすすめします。
“オフ”にすると電源が切れるまでの時間が速くなります。

■タイマー撮影中のカードブラウザ機能について

タイマー撮影中は、カードブラウザ機能の設定をしていても、ショット数（撮影枚数）がすべて終了するまではカードブラウザファイルを作成しません。タイマー撮影途中にカードブラウザファイルを作成するには、一旦電源をON/OFFして、タイマー撮影をキャンセルしてください。その際、カードブラウザファイルを自動的に作成します。

カードブラウザファイルのご利用方法

ブラウザ表示には、3種類あります。

タイプ1： 撮影時の情報表示と、スライドショー機能がついた高機能タイプ
- 高度なJava Scriptを使用しているので、Webブラウザのバージョンが限定されます。
（Microsoft Internet Explorer Ver4.01以上、Netscape Communicator Ver4.5以上）

タイプ2： スライドショー機能がついたビュアーに徹したタイプ
- 高度なJava Scriptを使用しているので、Webブラウザのバージョンが限定されます。
（Microsoft Internet Explorer Ver4.01以上、Netscape Communicator Ver4.5以上）

タイプ3： 軽快に画像確認が行なえるタイプ
- Webブラウザのバージョンに限定されません。

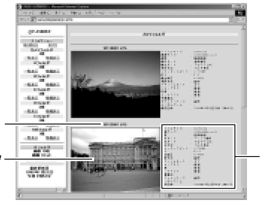
重要! タイプ1、タイプ2に設定時、スライドショーで画像を開いたときは、エコノミー画質（640×480pixels）も、超高精細／高精細／精細画質（1280×960pixels）と同じサイズで表示されるため粗く表示されます。

■カードブラウザファイルを見るには

パソコンにメモリーカードを接続し（79ページ）、“QVIMG02”フォルダ内の“INDEX.HTM”ファイルをWebブラウザにドロップすると、メモリーカード内のすべての画像が一覧表示されます。



ここで“各フォルダ名”をクリックすると、そのフォルダ内画像の情報表示になります。



画像情報

ファイルサイズ	：File size
画像サイズ	：Resolution
画質	：Quality
撮影モード	：Recording mode
露出モード	：AE
測光方式	：Light metering
シャッタースピード	：Shutter speed
絞り	：Aperture stop
露出補正	：Exposure comp
測距方式	：Focusing mode
フラッシュモード	：Flash mode
シャープネス	：Sharpness
彩度	：Saturation
コントラスト	：Contrast
多重露出	：Multiple Exposure
ホワイトバランス	：White balance
デジタルズーム	：Digital zoom
撮影日時	：Date

ここで“ Index ”をクリックすると、一覧表示に戻ります。

■カードブラウザを保存するには

- メモリーカード内の“ QVIMG02 ”フォルダごと、パソコンのハードディスクや、フロッピーディスク、MOディスクなどに保存してください。その後は、“ QVIMG02 ”内のファイルを更新したり消去しないでください。新たに画像を加えたり、消去したりすると、カードブラウザが正常に表示されなくなることがあります。
  また、パソコンのハードディスクや、フロッピーディスク、MOディスクなどに保存した“ QVIMG02 ”フォルダは、名称を年月日（99年12月3日なら991203）に変えておくとあとで整理するときに便利です。
- メモリーカードを再びデジタルカメラで使用するときは、以前のファイルをすべて消去するか、フォーマットしてから使うことをおすすめします。

故障とお思いになる前に

	現　象	考えられる原因	対　処
電源について	電源が入らない	1) 電池が正しい向きに入っていない。 2) 電池が消耗している。 3) 本機専用以外のACアダプターを使用している。	1) 電池を正しい向きに入れる（→28ページ）。 2) 新しい電池４本と交換する（→28ページ）。 3) 本機専用のACアダプター（AD-C620J）を使用する。
	電源が勝手に切れた	1) オートパワーオフが働いた（→29ページ）。 2) 電池消耗している。	1) 再度電源を入れ直す。 2) 新しい電池４本と交換する（→28ページ）。
	画面左下部に“ ”というマークが出た	電池が切れる寸前である。	新しい電池４本と交換する（→28ページ）。
撮影について	【シャッター】を押しても撮影できない	1)【ファンクションスイッチ】が[PLAY]（再生）の位置になっている。 2) フラッシュ充電中である。 3)“ メモリーがいっぱいです ”と表示されている。 4)“ フォルダ内の画像がいっぱいです ”と表示されている。 5) メモリーカードのメモリー容量が少ないか、メモリーカードが入っていない。	1) [REC]（撮影）の位置に合わせる。 2) フラッシュの充電が終わるのを待つ。 3) いらない画像を消去する。 4) 画質モードを切り替える（→38ページ）。または、いらない画像を消去する。 5) メモリーカード内の不要な画像を消去するか、別のメモリーカードをセットする。
	オートフォーカスなのにピントが合わない	1)【レンズ】または【測距センサー】が汚れている。 2) 被写体がオートフォーカスマークの中央にない。 3) ピントの合いにくい被写体である。	1)【レンズ】と【測距センサー】をきれいにする。 2) 被写体を中央に合わせる。 3)「撮影メニュー」（→50ページ）を参照して撮影方法を変える。
	撮影した画像の被写体がボケている	フォーカスが合っていない。	ピントを合わせたい被写体にフォーカスフレームを合わせて撮影してください。
	セルフタイマー撮影の途中で電源が切れた	電池が消耗している。	新しい電池４本と交換する（→28ページ）。

	現　象	考えられる原因	対　処
撮影について	液晶画面に表示される画像のピントがあまい	1) マニュアルフォーカス撮影モードでフォーカスがずれている。 2) マクロ撮影モードになっている。 3) 標準撮影モードになっている。	1) フォーカスを合わせる（→42ページ）。 2) 風景や人物を撮影する場合は、標準撮影モードにする。 3) 接写撮影する場合は、マクロ撮影モード“ ”にする。
	室内での撮影時に、画面の色や明るさが変化する	室内照明が蛍光灯である。	白熱電球など蛍光灯以外の照明を使う（→35ページ）。
	ムービー撮影できない	1) 撮影モードがムービー撮影になっていない。 2) 撮影できる枚数が足りない。	1)【MODE】を押して、ムービー撮影モードにする。 2) いらない画像を削除し、残り枚数を確保する。
	撮影した画像の一部がかけている	ファインダーから覗いたときに画像の中央を正しくとらえなかった。	次のような場合、撮影された範囲がファインダーを見たときと少し異なることがあります。 • 近距離撮影した場合、微妙なフレーミングを要求する場合は、液晶画面を見ながら撮影してください。 • ファインダーの光軸に対し斜めに覗いた場合、斜めに覗かないよう、カメラの向きにご注意ください。
	撮影したのに保存されていない	記録が終了するまでに電池切れになった。	バッテリー残量表示が“ ”になったら速やかに新しい電池４本と交換する（→28ページ）。
再生について	再生した画像の色が、撮影時に画面で見た色と違う	1) 太陽光など光源からの直接光がレンズに当たっている。 2) 撮影時に画質設定を変えて撮影している。	1) 直接光がレンズに当たらないようにしてください。 2)「撮影メニュー」（→50ページ）を参照して撮影方法を変える。
	マルチ画面表示で【＋】／【－】が働かない	画面が停止した状態でないと【＋】／【－】は働きません。	画面の停止中に【＋】／【－】を押してください。
	撮影した一部の画像が表示されない	フォルダが違っている。	画像のあるフォルダを選択する。

	現　象	考えられる原因	対　処
再生について	画像が表示されない	QV-7000SXで撮影したメモリーカードを使用している。	QV-7000SXで撮影したメモリーカードは、ファイル管理形式が異なるため再生できません。
	マルチ画面表示されない	フォルダ内に画像データが入っていない。	画像のあるフォルダを選択する。
	テレビにつないでもテレビの画面に本機の液晶画面の表示内容が出ない	1) 本機とテレビを正しく接続していない。 2) テレビ側の設定が合っていない。 3) ビデオ出力の方式が違う。	1) 専用ビデオコードを使って、正しく接続する（→76ページ）。 2) テレビ側の設定を合わせる。テレビに付属の取扱説明書をご参照ください。 3) ビデオ出力の方式を変更する（→76ページ）。
	パソコンで保存した画像が本機で表示されない	パソコン上でメモリーカードの画像を呼び出し後、画像修正等を行ないメモリーカードに保存した。	QV-LINKソフトを使用して、画像を転送する。
消去について	“ 消去 ”を指定しても消去指定画面に移動できない	記録されているすべてのページにメモリープロテクトがかかっている。	消去したいページのメモリープロテクトを解除する（→68ページ）。
その他	再生メニュー内で機能が選択できない	1) 再生画像に対して機能しないものは選択できない。 2) 画像が１枚も入っていない。	1) 表示している画像ではその機能を使うことができません。 2) 撮影してからお使いください。
	すべてのボタン、スイッチがきかない	他の周辺機器と接続中に、静電気や衝撃等により、回路内部に障害が発生した。	電池を取り出し、ACアダプターのプラグを本機から抜き、入れ直してから、再度操作してみてください。
	勝手にページ送りがはじまった	スクリーンセーバー機能が“ オン ”になっている。	スクリーンセーバー機能を“ オフ ”にしてください（→64ページ）。
	液晶画面がつかない	1) 液晶画面表示がOFFになっている。 2)【ビデオ出力端子】にビデオコードが接続されている。	1)【DISP】を何回か押す。 2) ビデオコードを抜いてください。

画面に表示されるメッセージ

圧縮に失敗しました	画像データ記録中に、圧縮不可状態のとき表示されます。アングルを変えて撮影し直してください。
同じ名前のファイルがあります 移動先に同じ名前のファイルが存在します 消去するか別のフォルダを選択してください	画像をフォルダ間移動しようとしたときに、移動先フォルダに同一のファイル名が存在した場合に表示されます。 移動先フォルダを変えてください。
画像がありません	まだ何も撮影していない状態、あるいは撮影内容をすべて消去して本機に画像が1枚もない状態では、画面にこのように表示されます。
このカメラでは表示できません ファイル形式が異なるかファイルが壊れています	画像ファイルが壊れているか、本機で表示できないJPEGファイルを表示しようとしています。
フォーマットされていません このカメラで使用するにはフォーマットしてください フォーマット→MENU	メモリーカードがフォーマットされていないときに表示されます。メモリーカードのフォーマットを行なってください（26ページ）。
フォルダ内の画像がいっぱいです	フォルダ内の画像が一杯になったことを示します。1つのフォルダ内には、250枚の画像までしか保存できません。
メモリーカードが異常です このカメラで使用するにはフォーマットしてください フォーマット→MENU	メモリーカードに異常が発生した場合に表示されます。下記の操作で解除が可能です。 重要！ 下記の操作を行なうとメモリーカード内のすべての内容（ファイル）が消えてしまいます。下記の操作を行なう前に、パソコン等を使用してメモリーカード内の正常なファイルを保存してください。 1.【MENU】を押します。  2.【＋】または【－】で“はい”を選び【シャッター】を押します。 • 操作を中止したい場合は【MENU】を押します。 • フォーマットの操作を行なうときは、ACアダプターを使用するか、新品のアルカリ電池または、リチウム電池を使用してください。フォーマット中に電源が切れると正しくフォーマットが行なわれず、メモリーカードが正常に使用できない場合があります。 • フォーマットが終了すると、“画像がありません”と表示されます。これは、フォーマットが正しく行なわれたことを示します。
メモリーカードが入っていません	本体にメモリーカードが入っていない場合に表示されます。 メモリーカードを入れてください。（25ページ）

メモリーがいっぱいです 画質を切り替えるか不要な画像を消去してください	現在の画質モードでは撮影できなくなり、他の画質モードに切り替えるとまだ撮影できることを示しています。画質モードを切り替えるか、一度消去の操作を行なう必要があります（70ページ）。
メモリーがいっぱいです 不要な画像を消去してください	• 撮影可能枚数を使い切りました。撮影を行ないたい場合は、一度消去の操作を行なう必要があります（70ページ）。 • メモリーカードにパソコンからデータを転送したときに、メモリーカード内の空き容量が少ないために、“QVIMG02フォルダ”やその他のファイル（79ページ）が作成できない場合に表示されます。パソコン上でメモリーカード内のファイルを消去して、空き容量を増やしてください（【MENU】を押して、フォーマットすることもできますが、メモリーカード内のデータがすべて消えてしまいます）。

主な仕様／別売品

主な仕様

記録画像 ファイルフォーマット	静止画、パノラマ：JPEG、動画：AVI／JPEG （CFカード記録時）
記録媒体	コンパクトフラッシュカード
記録枚数／画像ファイルサイズ（可変長）	静止画 S(1280×960) 14枚(約500KB／枚) F(1280×960) 19枚(約352KB／枚) N(1280×960) 33枚(約200KB／枚) E(640×480) 55枚(約112KB／枚) ムービー（AVI形式） 3.2秒(320×240) 8セット(約896KB/枚) 6.4秒(320×240) 4セット(約1792KB/枚) 9.6秒(320×240) 3セット(約2100KB/枚) 3.2秒(160×120) 30セット(約224KB/枚) 6.4秒(160×120) 16セット(約448KB/枚) 9.6秒(160×120) 10セット(約672KB/枚) ムービー（JPEG形式） 3.2秒(320×240) 6セット 6.4秒(320×240) 3セット 9.6秒(320×240) 2セット 3.2秒(160×120) 27セット 6.4秒(160×120) 13セット 9.6秒(160×120) 9セット ※8MB CFカード使用時
消去	1画像単位、フォルダ単位、全画像一括消去可能 （メモリープロテクト機能付き）
撮像素子	1/3インチ正方画素原色CCD （総画素数：131万画素、有効画素数：125万画素）
レンズ	F2.8 f=5.47mm （35mmフィルム換算36mm相当）
ズーム	デジタルズーム2/4倍
焦点調節	外部位相差検出方式オートフォーカス マニュアルフォーカス可能、マクロモード、フォーカスロック付き
撮影可能距離	標準：0.3m～∞、接写：10cm （マニュアルフォーカスにより約10cm～∞） （レンズ保護フィルター表面より）
露出制御	測光方式：撮像素子によるマルチパターン測光／中央重点測光／スポット測光 制御方式：プログラムAE 露出補正：－2EV～＋2EV（1/2EV単位）
シャッター	CCD電子シャッター／メカシャッター併用 1/8～1/500秒（夜景撮影時のみ1秒～）
絞り	F2.8/4/5.6/8/11/16 自動
ホワイトバランス	自動／固定（4モード）、マニュアル切替可能
セルフタイマー	作動時間10秒、2秒
内蔵フラッシュ	発光モード：自動発光、強制発光、発光禁止、赤目軽減機能切替可能 フラッシュ撮影範囲：約0.7～2m
撮影関連機能	連写撮影、速写撮影、AEB撮影、多重露出撮影、夜景撮影、単写撮影、セルフタイマー撮影、ムービー撮影、パノラマ撮影、接写撮影
モニター	1.8型TFT低反射カラー液晶（HAST） 122.100(555×220)画素
ファインダー	液晶モニター／アルバタ式光学ファインダー
時計機能	クォーツデジタル時計内蔵日付・時刻：画像データと同時に記録、画像データに写し込みも可能 自動カレンダー：2049年まで
入出力端子	デジタル入出力端子、外部電源端子、 ビデオ出力端子（NTSC／PAL標準方式準拠）
電源	乾電池×4（単3形アルカリ電池およびリチウム電池） 充電池×4（単3形ニッケル水素蓄電池（NP-H3）） ACアダプター（AD-C620J）

電池持続時間

以下の電池持続時間は、標準温度（25℃）で使用した場合の電源が切れるまでの目安であり、保証時間ではありません。低温下で使うと、電池持続時間が短くなります。

使用電池	単3形アルカリ電池 LR6	単3形リチウム電池 FR6
連続再生時	約 120分	約 210分
連続撮影時	約 360枚撮影可能	約 840枚撮影可能

アルカリ電池は松下電池工業（株）製、リチウム電池は富士写真フィルム（株）製の場合の数値です。電池持続時間はメーカーによって異なります。

連続撮影枚数は、フラッシュを使用せずに撮影した場合の撮影可能枚数です。フラッシュの使用、電源のON/OFFなどの条件により数値は異なります。

消費電力	約7.3W
サイズ	幅131mm×高さ69mm×奥行き43mm
質量	約250g（電池、付属品除く）
付属品	コンパクトフラッシュカード8MB、ハンドストラップ、ソフトケース、ビデオコード、パソコンリンクソフトCD-ROM、レンズキャップ、アルカリ電池（LR6×4本）、取扱説明書（保証書付き）

電源について

- 充電式電池は、別売品のニッケル水素蓄電池(Ni-MH)NP-H3をご使用ください。他の充電式電池については動作保証いたしかねます。
  ※本機には、時計用電池（ボタン型リチウム電池）が内蔵されております。電池が消耗しましたら、カシオテクノ・サービスステーションにて交換をしてください。
- 液晶パネルは非常に高精度な技術で作られており、99.99％以上の有効画素がありますが、0.01％以下の画素欠けや常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。

別売品

- ACアダプター
  AD-C620J
- メモリーカード CF-4x （4MB）
  CF-8x （8MB）
  CF-15x （15MB）
  CF-30x （30MB）
  CF-48x （48MB）
- PCカードアダプター CA-10
- ニッケル水素蓄電池／急速充電器セット
  BC-1HB4
- ニッケル水素蓄電池（4本セット）
  NP-H3P4
- コンパクトフラッシュカードリーダー CF-1RW
- パソコンリンクケーブル
  NEC PC-9801/9821シリーズ用：QC-1N
  IBM PC/AT互換機／PC98-NXシリーズ用：QC-1D
  Macintosh 用：QC-2MまたはQC-3M
  ※必ず、77ページの「パソコンリンクケーブルでの接続」をお読みください。
- QVカラープリンター
  DP-300
  DP-8000
  DP-8800SX